

消 防 年 報

令 和 6 年 版



新救急1号車（左）と旧救急1号車（右）

第 5 0 号

丹羽広域事務組合消防本部

は し が き

- 1 この年報は、令和6年中における丹羽広域事務組合の消防諸般の状況を収録し、将来の消防行政運営に広く活用していただくための資料として編集しました。
- 2 予算関係は会計年度とし、その他特に記載のあるものを除き、すべて暦年により収録しました。

令和7年5月

丹羽広域事務組合消防本部



目 次

《 組合・管内情勢 》

・組合のあゆみ	1
・丹羽広域事務組合管内図／構成町の面積・人口・世帯数	11
・丹羽広域事務組合の組織図	12
・事務分掌	13

《 予 算 》

・組合負担金状況／負担金割合内訳／基準財政需要額割内訳	14
・人口・世帯に対する組合予算／令和5年度・6年度歳入歳出予算額	15

《 消 防 情 勢 》

・消防相互応援協定締結状況	16
・基準消防力と現有消防力の比較	17
・職員配置表／消防力の比較（面積・人口・世帯）	18
・職員階級別年齢表	19
・職員勤続年数表	20
・職員の資格取得状況	21
・職員教育実施状況	22

《 施 設・機 械 》

・消防庁舎概要	23
・通信指令設備	26
・通信指令系統図	27
・消防本部・署所消防車両等一覧表	28
・消防専用無線電話設備	29
・消防用主要機器材一覧表	30
・救急・その他主要機器材一覧表	31
・消防水利の設置基準	32
・消防水利設置状況	33

《 火 災 統 計 》

・火災の定義等	34
・過去5年間の火災状況	35
・火災件数（月別）	36
・火災件数（湿度・風速別）	37
・火災件数（覚知時間別）	38
・火災件数（曜日・地区別）	39
・火災件数（原因別）	40
・令和6年火災一覧表	41

《 救急・救助統計 》

・救急の定義等	45
・過去5年間の救急出場状況	46
・救急出場件数（月別）	47
・救急出場件数（曜日・地区別）	48
・救急出場件数（出場時間・現場到着所要時間別）	49
・救急搬送人員（年齢・収容所要時間別）／救急搬送人員（年齢・傷病程度別）	50
・救助活動状況	51

《 指 導 統 計 》

・防火対象物一覧表	52
・建築同意件数（用途別）	53
・建築同意件数（月別）／階別防火対象物状況（4階以上）	54
・防火管理講習の区分	55
・防火管理者を必要とする事業所数／防災管理者を必要とする事業所数	56
・消防用設備等検査状況	57
・消防法・火災予防条例届出件数	58

《 危 険 物 統 計 》

・過去10年間の危険物施設（事業所）数／危険物施設の割合	59
・危険物施設数（数量別）	60
・危険物施設数（類別）／危険物事業所に関する届出状況	61
・危険物施設許可・検査・承認・廃止件数／危険物等に関する届出状況	62

《 気 象 統 計 》

・気象状況（月別）	63
・風向風速の状況（月別）	64
・気温湿度の状況（月別）	65

《 そ の 他 》

・消防団現勢	66
・消防団車両一覧表	67
・消防職員による指導状況	68
・イベント・講習・訓練等実施状況	69
・丹羽消防幼年・少年消防クラブ／自主防災組織	70
・災害時応援協定企業一覧	71

《 組合・管内情勢 》

組合のあゆみ

昭和49年9月	大口町・扶桑町で丹羽消防組合発足へ準備開始
10月	丹羽消防組合推進協議会設立 先進地消防組合視察
11月	政令指定の申請書提出
昭和50年3月	消防組合設立推進事務開始
4月	職員採用 10名 派遣職員 2名 自治省告示第212号で政令指定
5月	丹羽消防組合と名称決定
6月	丹羽消防組合同規約を組合町議決
7月	愛知県知事宛の設立許可申請書提出
9月	日本船舶振興会より救急自動車2 B型寄贈される 愛知県知事より設立許可
10月	丹羽消防組合発足 予防・救急業務開始 職員 16名 当初予算 117,000千円 広報車兼指令車購入 救急車・広報車兼指令車を配置 第1回臨時議会 組合条例・昭和50年度予算等議決
11月	庁舎建設設計を委託
12月	第2回臨時議会 消防庁舎建設に伴う契約議決・庁舎建設工事着工
昭和51年4月	職員採用 18名 計 34名 当初予算 154,100千円 1,500 L水槽付消防ポンプ自動車大口町より譲受 消防用携帯無線一式扶桑町より譲受 空気呼吸器2器扶桑町より譲受
7月	庁舎竣工・鉄筋コンクリート造り3階建一部平屋建亜鉛鉄板葺 延べ面積 1,098.89㎡ 敷地面積 4,635.84㎡ 消防ポンプ自動車1台大口町より譲受 〃 扶桑町より譲受
8月	丹羽消防組合同規約改正・新庁舎移転 1本部・1署として消防業務全面開始 気象観測開始（天気・風向・風速・気温・湿度・気圧・雨量）
11月	日本損害保険協会より救急自動車3 B型寄贈される

昭和52年4月	職員採用 3名 計 37名 当初予算 183,000千円
7月	退職 1名 計 36名
8月	敷地内一部舗装 451㎡ 愛知県・東海地区消防職員救助技術発表会に初出場
10月	管理者・収入役・監査委員交代 退職 1名 計 35名
11月	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型1台購入
昭和53年1月	倉庫増築 49.5㎡ (床面積)
3月	退職 1名 計 34名
4月	職員採用 2名 計 36名 当初予算 161,100千円
10月	車庫増築 110.7㎡
12月	小型動力ポンプ付水槽車Ⅰ型1台購入 退職 1名 計 35名
昭和54年4月	職員採用 3名 計 38名 当初予算 147,000千円
5月	指令車1台購入
10月	管理者・収入役・監査委員交代
昭和55年4月	職員採用 2名 計 40名 当初予算 161,770千円
昭和56年4月	職員採用 2名 計 42名 当初予算 182,000千円
10月	管理者・収入役・監査委員交代
昭和57年3月	退職 1名 計 41名
4月	派遣職員 1名 計 42名 当初予算 197,630千円
9月	平塚子供会少年消防クラブ結成 高雄団地少年消防クラブ結成
12月	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型1台購入
昭和58年4月	職員採用 2名 計 44名 当初予算 210,000千円 丹羽危険物安全協会設立
6月	退職 1名 計 43名
8月	油庫新築 4.63㎡ (床面積)
10月	管理者・収入役・監査委員交代 消防ポンプ自動車CD-I型1台購入
昭和59年4月	職員採用 3名 計 46名 当初予算 216,000千円
5月	先行車1台購入
11月	扶桑幼稚園幼年消防クラブ結成
12月	倉庫増築 82.0㎡

昭和60年4月	職員採用 1名 計 47名 当初予算 260,000千円
10月	庁舎増築 142.57㎡ (床面積) 管理者・収入役・監査委員交代
昭和61年3月	退職 1名 計 46名
4月	職員採用 2名 計 48名 当初予算 267,000千円
10月	消防緊急情報システム I 型購入
12月	査察車1台購入 退職 1名 計 47名
昭和62年3月	消防ポンプ自動車C D - I 型1台購入
4月	職員 47名 当初予算 347,000千円
9月	車庫増築 28.8㎡ (床面積) 救急自動車 2 B 型1台更新
10月	管理者・収入役・監査委員交代
12月	はしご付消防自動車30m級1台購入
昭和63年2月	消防専用無線電話装置 (基地局) 更新
4月	職員採用 3名 計 50名 当初予算 319,000千円
8月	車庫新築 60.0㎡ (床面積)
9月	退職 1名 計 49名
12月	救助工作車 II 型1台購入
平成元年3月	退職 1名 計 48名
4月	職員 48名 当初予算 305,000千円
5月	資材搬送車1台購入
7月	指令車1台購入
9月	気象観測装置更新
10月	管理者・収入役・監査委員交代 電話交換機更新
平成2年4月	職員採用 3名 計 51名 当初予算 367,000千円
12月	丹羽危険物安全協会より連絡車寄贈される 緊急通報システム運用開始
平成3年2月	退職 1名 計 50名
3月	水槽付消防ポンプ自動車 II 型1台購入
4月	職員採用 2名 計 52名 退職 1名 計 51名 当初予算 380,000千円
10月	管理者・収入役・監査委員交代
平成4年3月	愛知県共済生活共同組合より救急自動車 2 B 型寄贈される

4月	職員採用 4名 計 55名 当初予算 488,000千円
7月	指揮車更新
10月	非常用自家発電設備更新
12月	大口幼稚園幼年消防クラブ結成
平成5年4月	日本消防協会 1名派遣 職員採用 3名 計 58名 当初予算 533,000千円
5月	退職 1名 計 57名
7月	派遣解く 1名 (大口町へ) 計 56名 派遣職員 2名 (大口・扶桑町より各1名) 計 58名
10月	管理者・収入役・監査委員交代
12月	出動灯設備更新
平成6年1月	車庫前コンクリート補修工事
3月	体力練成器具一式購入
4月	職員採用 5名 計 63名 予算 590,000千円
6月	広報車更新
11月	仮称丹羽消防組合扶桑出張所用地取得
平成7年1月	阪神・淡路大震災消防応援
3月	阪神・淡路大震災消防応援
4月	職員採用 4名 計 67名 予算 957,000千円
6月	仮称丹羽消防組合扶桑出張所建設工事着工
9月	財団法人日本消防協会より広報車寄贈される 仮称丹羽消防組合大口出張所用地取得
10月	管理者・収入役・監査委員交代
11月	化学防護服6着購入
平成8年2月	退職 1名 計 66名 丹羽消防署扶桑出張所と名称決定
3月	消防緊急情報システム I 型オーバーホール 丹羽消防署扶桑出張所竣工 鉄筋コンクリート造2階建一部鉄骨造 敷地面積 1,645.80㎡ 延べ面積 723.55㎡
4月	職員 66名 当初予算 591,600千円 丹羽消防署扶桑出張所業務開始 職員 15名配置 水槽付消防ポンプ自動車 II 型1台 消防ポンプ自動車 CD-I 型1台 救急自動車 2 B 型1台
7月	退職 1名 計 65名

11月	消防用無線周波数（市波）変更 北新田子供会少年消防クラブ結成 山那子供会少年消防クラブ結成 高雄団地少年消防クラブ解散
平成9年3月	派遣解く 1名（大口町へ）計 64名
4月	職員採用 5名 計 69名 当初予算 1,117,000千円
6月	仮称丹羽消防組合大口出張所建設工事着工 豊田子ども会少年消防クラブ結成
10月	管理者・収入役・監査委員交代
12月	県内共通波固定局免許取得
平成10年2月	丹羽消防署大口出張所と名称決定
3月	丹羽消防署大口出張所竣工 鉄筋コンクリート造2階建一部鉄骨造 敷地面積 2,797.75㎡ 延べ面積 740.38㎡ 水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型1台購入 消防ポンプ自動車CD-I型1台購入 高規格救急自動車1台購入
4月	派遣解く 1名（扶桑町へ）計 68名 職員採用 3名 計 71名 当初予算 736,000千円 丹羽消防署大口出張所業務開始 職員 15名配置 水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型1台配備 消防ポンプ自動車CD-I型1台配備 救急自動車2B型1台購入
6月	上小口子ども会少年消防クラブ結成
9月	緊急通報システム装置更新
12月	消防専用無線電話装置（基地局）更新
平成11年2月	消防ポンプ自動車CD-I型1台購入
3月	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型1台購入
4月	職員採用 3名 計 74名 当初予算 744,000千円
平成12年3月	小型動力ポンプ付水槽車Ⅰ型1台購入
4月	職員採用 3名 計 77名 当初予算 721,700千円
6月	竹田子ども会少年消防クラブ結成
平成13年3月	退職 1名 計 76名
4月	職員 76名 当初予算 729,000千円
7月	新総合通信ネットワーク通信設備整備工事着手
平成14年3月	丹羽消防組合解散

4月 丹羽広域事務組合発足
職 員 76名
当初予算 857,800千円
扶桑町と人事交流1名実施 (2年間)

平成15年1月 消防本部庁舎改修工事
新総合通信ネットワーク通信設備整備工事完了

2月 高規格救急自動車1台購入

3月 退 職 1名 計 75名

4月 職員採用 1名 計 76名
当初予算 780,500千円

10月 査察車1台購入

平成16年1月 退 職 1名 計 75名

3月 新総合通信ネットワーク (衛星系) 通信設備整備

4月 職員採用 1名 計 76名
当初予算 765,700千円
大口町と人事交流1名実施 (2年間)

10月 職員採用 1名 計 77名

11月 消防本部庁舎改修工事

平成17年3月 資材搬送車1台購入

4月 職 員 77名
当初予算 785,900千円

11月 携帯電話119番通報直接受信工事

平成18年3月 水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型1台購入

退 職 2名 計 75名

4月 職 員 75名
当初予算 913,000千円

11月 救助工作車 (Ⅱ型) 1台購入

平成19年3月 高機能消防指令センター整備

退 職 3名 計 72名

4月 職員採用 3名 計 75名
当初予算 876,000千円
愛知県防災航空隊へ1名派遣 (3年間)
水道部と人事交流1名実施 (2年間)

11月 梯子付消防自動車30m級1台購入

平成20年2月 社団法人日本自動車工業会より高規格救急自動車寄贈

3月 退 職 1名 計 74名

4月 職員採用 1名 計 75名
当初予算 739,000千円
扶桑町と人事交流1名実施 (2年間)

退 職 1名 計 74名

6月 本署電話交換設備改修工事

8月 連絡車更新

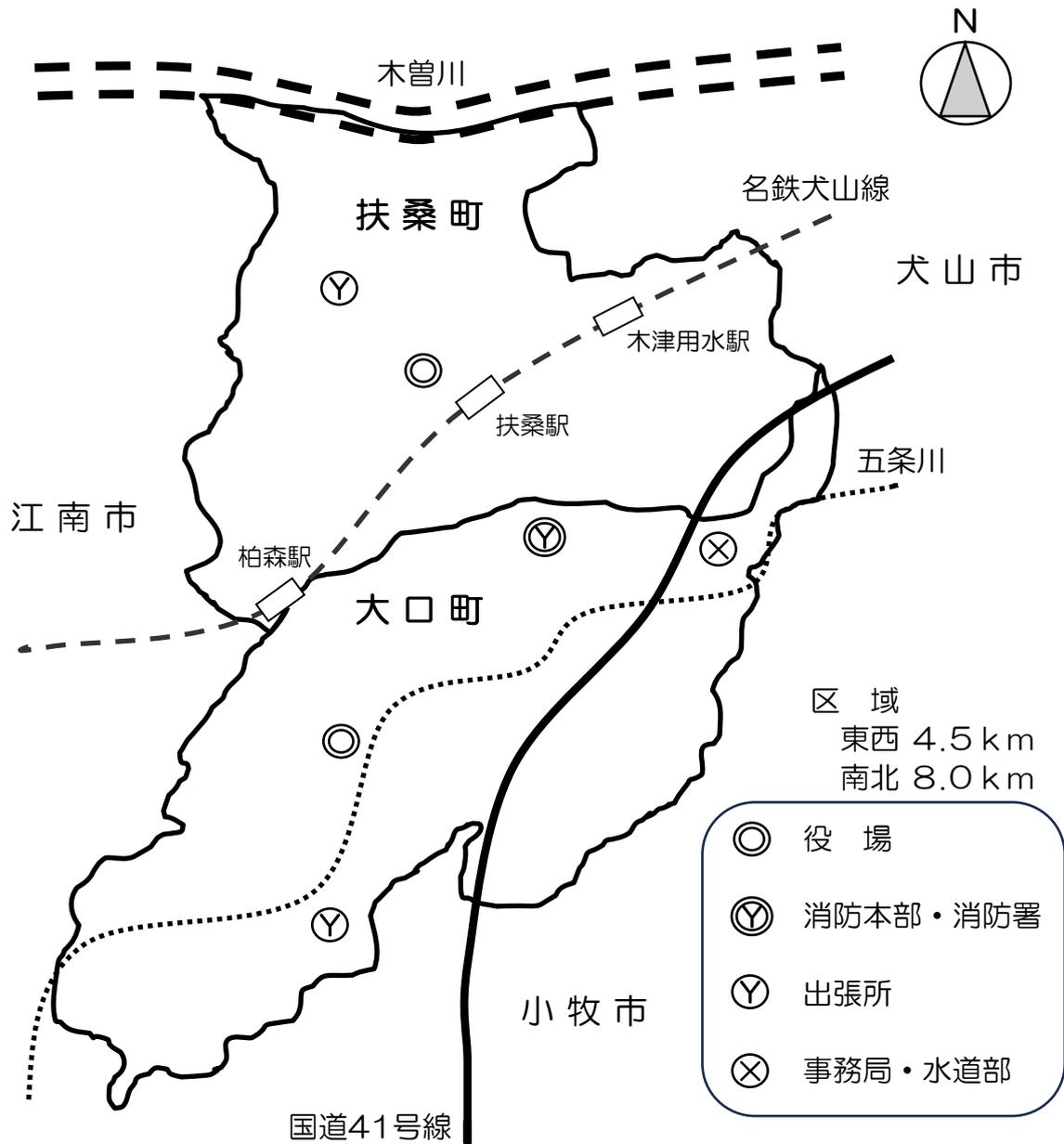
	8月	消防本部庁舎3階空調設備等改修工事
	9月	職員採用 2名 計 76名
平成21年	4月	職員 76名 当初予算 761,000千円 愛知県消防学校へ1名派遣 (2年間)
	9月	広報車1台購入
	10月	119番通報位置情報通知システム導入
	11月	消防本部庁舎改修工事
平成22年	3月	退職 1名 計 75名 愛知県防災航空隊への派遣 (1名) 解く
	4月	職員 75名 当初予算732,000千円
	7月	消防本部車庫等改修工事
	11月	指令車1台増強
	12月	退職 1名 計 74名
平成23年	3月	退職 1名 計 73名 愛知県消防学校への派遣 (1名) 解く
	4月	職員採用 4名 計 77名 当初予算 762,000千円 愛知県へ1名派遣 (1年間)
	12月	消防本部外構等改修工事
平成24年	3月	高規格救急自動車1台購入 警防連絡車1台増強 (大口町より寄贈) 退職 3名 計 74名 愛知県への派遣 (1名) 解く
	4月	職員採用 3名 計 77名 当初予算 764,000千円 水道部と人事交流1名実施 (2年間)
	8月	広報車1台購入
	12月	CAFS付消防ポンプ自動車1台購入 扶桑出張所庁舎等改修工事
平成25年	3月	退職 5名 計 72名
	4月	職員採用 6名 計 78名 当初予算 780,000千円 西春日井広域事務組合と人事交流1名実施 (1年間)
	12月	大口出張所庁舎等改修工事 消防署仮眠室等改修工事 CAFS付水槽付消防ポンプ自動車1台購入
平成26年	3月	退職 4名 計 74名
	4月	職員採用 5名 計 79名 当初予算 886,000千円 水道部と人事交流1名実施 (2年間)

	4月	西春日井広域事務組合と人事交流1名実施（1年間）
	5月	消防本部室内照明器具等改修工事
	9月	消防本部アスファルト舗装工事
	12月	指揮車1台購入 CAFS付消防ポンプ自動車1台購入
平成27年	1月	退職 1名 計 78名
	3月	退職 1名 計 77名
	4月	職員採用 5名 計 82名 当初予算 818,000千円 西春日井広域事務組合と人事交流1名実施（1年間）
	9月	消防本部車庫増設工事 両出張所照明器具改修工事
平成28年	2月	消防本部電話交換機等更新工事
	3月	退職 2名 計 80名
	4月	職員採用 3名 計 83名 当初予算 806,000千円 尾張中北消防指令センター運用開始（3名派遣） 愛知県へ1名派遣（1年間） 水道部と人事交流1名（9ヶ月間）
	6月	サイレン吹鳴連動等工事 はしご付消防自動車オーバーホール
	10月	西春日井広域事務組合と人事交流1名実施（6ヶ月間）
	12月	消防本部キュービクル改修工事
平成29年	3月	退職 2名 計 81名 愛知県への派遣（1名）解く
	4月	職員採用 4名 計 85名 当初予算 827,000千円 愛知県消防学校へ1名派遣（2年間） 名古屋市消防局へ1名派遣（1年間）
	8月	消防本部非常用自家発電設備工事
	11月	消防本部待機室等改修工事
	12月	通信機器移設工事
平成30年	2月	高規格救急自動車1台購入（救急2号車）
	3月	退職 3名 計 82名 名古屋市消防局への派遣（1名）解く
	4月	職員採用 2名 計 84名 再任用 1名 当初予算 854,000千円
	7月	扶桑出張所空調設備改修工事
	11月	退職 1名 計 83名
	12月	扶桑出張所非常用自家発電設備等工事 消防本部構造体劣化調査

平成31年1月 災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅱ型1台購入
 3月 退職 1名 計 82名
 愛知県消防学校への派遣（1名）解く
 4月 職員採用 3名 計 85名
 再任用 2名
 当初予算 832,000千円
 名古屋市消防局へ1名派遣（1年間）
 令和2年1月 小型動力ポンプ付水槽車Ⅰ型1台購入
 3月 退職 3名 計 82名
 名古屋市消防局への派遣（1名）解く
 4月 職員採用 5名 計 87名
 再任用 2名
 当初予算 834,000千円
 愛知県防災航空隊へ1名派遣（3年間）
 10月 空気ボンベ充填コンプレッサー購入
 令和3年1月 資材搬送車1台購入
 大口出張所非常用自家発電設備改修工事
 3月 大口出張所2階空調・給湯設備等の改修工事
 退職 5名 計 82名
 4月 職員採用 3名 計 85名
 再任用 4名
 当初予算 868,000千円
 5月 退職 1名 計 84名
 10月 扶桑出張所2階空調設備部分改修工事
 令和4年2月 消防本部1階庁舎内改修工事
 扶桑出張所1階男性トイレ改修工事
 3月 退職 2名 計 82名
 4月 職員採用 3名 計 85名
 再任用 5名
 当初予算 847,000千円
 愛知県防災航空隊名古屋市消防航空隊へ運航業務委託
 はしご付消防自動車オーバーホール
 令和5年1月 消防本部3階空調設備改修工事
 2月 扶桑出張所改修工事
 CAFS付水槽付消防ポンプ自動車1台購入
 3月 名古屋市消防航空隊への派遣（1名）解く
 退職 2名 計 83名
 4月 職員採用 4名 計 87名
 再任用 3名
 愛知県消防学校へ1名派遣（2年間）
 扶桑町へ1名派遣（2年間）
 大口町へ1名派遣（2年間）

4月	当初予算 880,000千円
令和6年2月	高規格救急自動車1台購入 (救急3号車)
3月	消防本部外壁改修工事
	退職 5名 計 82名
4月	職員採用 6名 計 88名
	再任用 3名
	当初予算 900,000千円
7月	消防本部空調設備改修工事 (2階事務所及び女性仮眠室)
令和7年1月	消防本部及び両出張所車庫水銀灯改修工事
2月	扶桑出張所変電設備改修工事 (高圧から低圧に切り替え)
	高規格救急自動車1台購入 (救急1号車)
3月	退職 6名 計 82名
	愛知県消防学校への派遣 (1名) 解く
	大口町への派遣 (1名) 解く
	扶桑町への派遣 (1名) 1年間延長
4月	職員採用 5名 計 87名 (役職定年2名)
	再任用 3名
	当初予算 993,000千円
	愛知県へ1名派遣 (1年間)
	大口町へ1名派遣 (2年間)

丹羽広域事務組合管内図

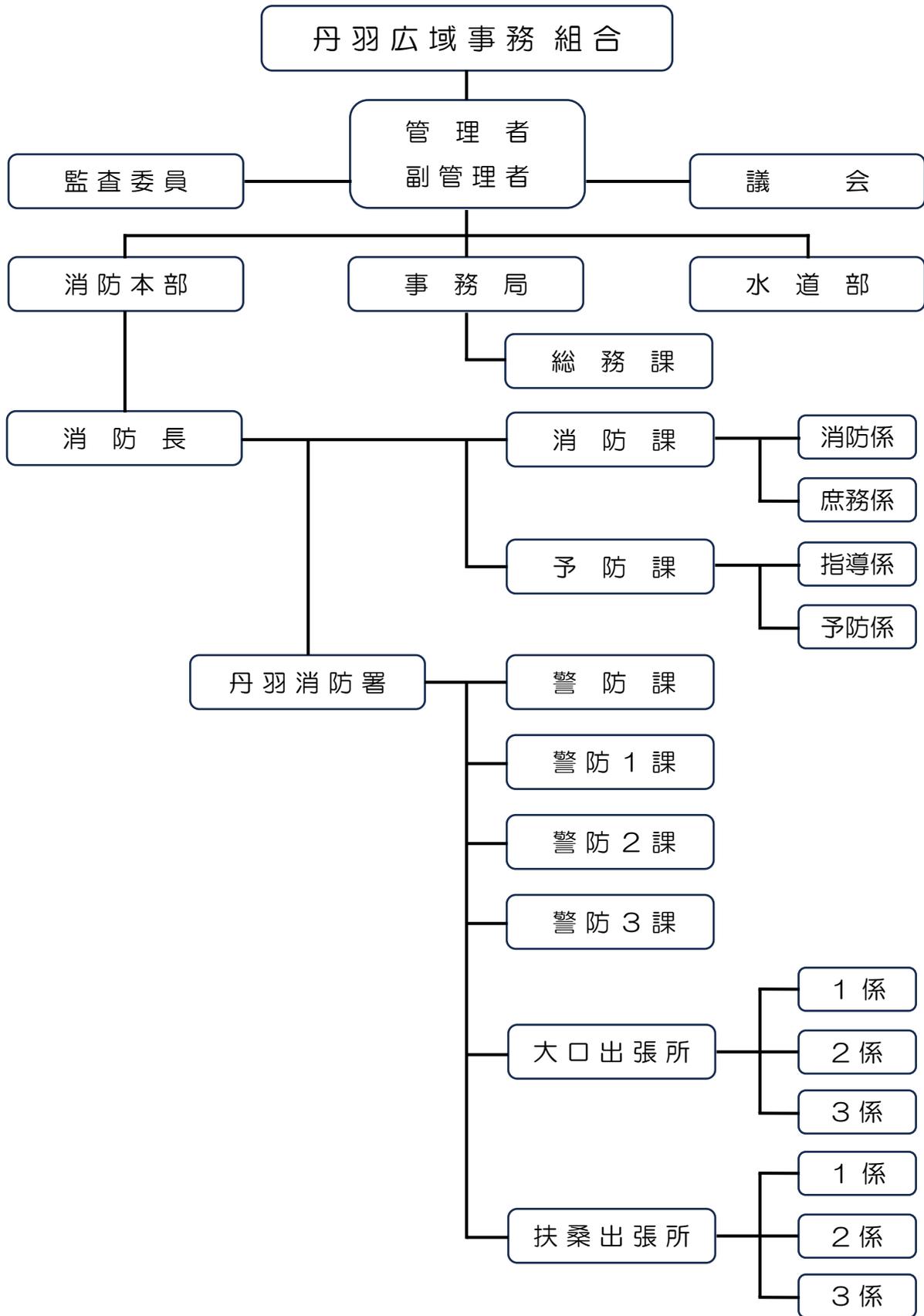


構成町の面積・人口・世帯数

令和7年3月31日

区分 \ 町別	大口町	扶桑町	合計
面積	13.6 km ²	11.2 km ²	24.8 km ²
人口	23,998 人	34,917 人	58,915 人
世帯数	10,122 世帯	15,256 世帯	25,378 世帯

丹羽広域事務組合の組織図



事務分掌

消防本部

(消防課)

消防係・庶務係

- 1 公印の管守に関する事。
- 2 文書の收受、発送及び保管に関する事。
- 3 消防職員の人事に関する事。
- 4 消防のほう賞及び表彰に関する事。
- 5 安全衛生管理及び公務災害補償に関する事。
- 6 消防職員委員会に関する事。
- 7 職員互助会に関する事。
- 8 丹羽消防連絡協議会に関する事。
- 9 予算、決算及び会計に関する事。
- 10 財産の取得及び処分に関する事。
- 11 消防施設の保全及び管理に関する事。
- 12 消防計画に関する事。
- 13 消防施設整備計画に関する事。
- 14 消防施設整備に伴う補助事業に関する事。
- 15 各種統計に関する事。
- 16 消防職員の研修及び教養に関する事。
- 17 緊急消防援助隊に関する事。
- 18 消防相互応援協定に関する事。
- 19 他の課の所管に属さない事。

(予防課)

予防係・指導係

- 1 火災予防の啓発及び広報に関する事。
- 2 火災の原因調査及び損害調査に関する事。
- 3 火災の統計及び記録に関する事。
- 4 住宅防火に関する事。
- 5 火災予防条例に関する事。
- 6 火災警報に関する事。
- 7 り災証明に関する事。
- 8 建築物の同意に関する事。
- 9 消防用設備等の指導に関する事。
- 10 防火査察に関する事。
- 11 防火管理に関する事。
- 12 防火対象物等の統計に関する事。
- 13 丹羽消防クラブ推進委員会に関する事。
- 14 危険物の規制に関する事。
- 15 危険物製造所等の許認可及び検査に関する事。
- 16 液化石油ガス等の保安に関する事。
- 17 危険物施設等の統計に関する事。
- 18 丹羽危険物安全協会に関する事。
- 19 その他予防、指導に関する事。

消防署

(警防課)

- 1 職員の研修企画に関する事。
- 2 各種訓練に関する事。
- 3 救急に伴う病院との調整に関する事。
- 4 消防機械器具の保全及び点検に関する事。
- 5 各種資格取得に関する事。
- 6 公用自動車の整備保全に関する事。
- 7 緊急消防援助隊に関する事。
- 8 消防相互応援協定に基づく出動及び要請に関する事。
- 9 尾張中北消防指令センターとの連絡調整に関する事。
- 10 各種協定に関する事。
- 11 予算の執行に関する事。
- 12 救命索発射銃の維持管理に関する事。
- 13 その他消防署業務に関する事。

(警防1・2・3課、両出張所)

- 1 火災その他災害の警戒及び防ぎよに関する事。
- 2 救急業務に関する事。
- 3 救助業務に関する事。
- 4 通信業務に関する事。
- 5 消防、救急、救助訓練に関する事。
- 6 消防対象物の調査及び査察に関する事。
- 7 消防水利の調査点検に関する事。
- 8 消防自動車の整備保全及び点検に関する事。
- 9 消防、救急、救助機械器具の保全及び点検に関する事。
- 10 防火防災訓練の指導に関する事。
- 11 応急手当の普及啓発及び指導に関する事。
- 12 消防団の訓練指導に関する事。
- 13 各種届出の検査及び指導に関する事。
- 14 各種統計に関する事。
- 15 火災警報及び気象、災害情報に関する事。
- 16 気象に関する事。
- 17 軽微な火災の原因調査に関する事。
- 18 署員の安全管理に関する事。
- 19 その他警防業務、救急業務、通信業務に関する事。

《 予 算 》

組合負担金状況

令和6年度

区分 \ 町別	大口町	扶桑町	計
負担金	379,274 千円	461,726 千円	841,000 千円
負担率	45.098 %	54.902 %	100.000 %

負担金割合内訳

令和6年度

区分 \ 町別	大口町	扶桑町	計
均等割【40%】	168,200 千円	168,200 千円	336,400 千円
基財割【60%】	211,074 千円	293,526 千円	504,600 千円

基準財政需要額割内訳

令和6年度

区分 \ 町別	大口町	扶桑町	計
基準財政需要額 【令和5年度確定額】	4,542,322 千円	6,315,628 千円	10,857,950 千円
比率	41.83 %	58.17 %	100.00 %

人口・世帯に対する組合予算

年度 区分	令和 5 年度	令和 6 年度
予 算 額	880,000 千円	900,000 千円
人 口	59,152 人	58,915 人
世 帯	25,139 世帯	25,378 世帯
1 人 あ た り	14,877 円	15,276 円
1 世 帯 あ た り	35,005 円	35,464 円

*人口及び世帯は、各年度3月31日の数値

令和 5 年度・令和 6 年度 歳入歳出予算額

歳 入

単位：千円

年度 款	令和 5 年度	令和 6 年度
1 負 担 金	827,509	860,349
2 使用料及び手数料	755	506
3 国庫支出金	11,500	15,801
4 財産収入	1	2
5 繰入金	1	1
6 繰越金	15,000	3,000
7 諸収入	8,234	8,341
8 組合債	17,000	12,000
歳入合計	880,000	900,000

歳 出

単位：千円

年度 款	令和 5 年度	令和 6 年度
1 議 会 費	1,671	1,265
2 総 務 費	51,377	52,075
3 消 防 費	804,417	819,016
4 公 債 費	12,535	17,644
5 予 備 費	10,000	10,000
歳出合計	880,000	900,000

《 消 防 情 勢 》

消防相互応援協定締結状況

令和7年4月1日

締結年月日 (初締結年月日)	名 称	備 考
平成14年12月1日 (昭和51年10月1日)	消防相互応援協定	小牧市
平成14年12月1日 (平成14年2月13日)	消防相互応援協定に基づく 境界付近の応援に関する覚書	
平成18年12月18日 (昭和51年11月1日)	消防相互応援協定	犬山市
平成15年4月1日 (平成2年3月12日)	愛知県内広域消防相互応援協定	愛知県内の市町村、消防事務 に関する一部事務組合及び広 域連合
平成19年1月17日 (平成11年10月26日)	尾張西北部地区消防相互応援協定	一宮市、江南市、岩倉市 西春日井広域事務組合 丹羽広域事務組合
平成19年1月25日 (平成15年9月1日)	木曽川流域消防相互応援協定	一宮市、犬山市、江南市 丹羽広域事務組合、羽島市 各務原市、海津市 羽島郡広域連合
令和4年4月1日 (平成8年10月1日)	愛知県における航空機を用いた 市町村等の消防支援協定	愛知県内の市町村、消防事務 に関する一部事務組合及び広 域連合

基準消防力と現有消防力の比較

令和7年4月1日

算出基準	総人口 (令和7年3月31日)	年間平均風速	市街地
	58,915人	4 m/s 未満	1 か所

消防力の整備指針	区分	基準消防力		現有消防力	
		基準台数	基準人員	現有台数	現有人員
4条	消防署所	3署所		3署所	
15条, 30条	指揮車	1台	9人	1台	66人
5条, 27条, 33条	消防ポンプ自動車	4台	85人	4台	
7条, 27条, 33条	はしご自動車	1台		1台	
8条, 27条, 33条	化学消防車	1台		1台	
16条	特殊車等 小型動力付水槽車 資材搬送車	2台		2台	
13条, 28条, 33条	救急自動車	3台	9人	3台	
14条, 29条	救助工作車	1台	16人	1台	
31条	通信員		3人		3人
32条	予防要員		8人		3人
34条	総務事務等の人員		19人		15人
合計		13台	149人	13台	87人

基準人員 (149人) - 現有人員 (87人) = 不足人員 (62人) 【充足率58.4%】

職員配置表

令和7年4月1日

所 属		階 級							合 計
		司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	再任用 職員	
消 防 本 部	消 防 長	1							1
	消 防 課		2	4	1				7
	予 防 課		2		1			1	4
組 合 事 務 局 総 務 課			2						2
消 防 署	署 長		1						1
	警 防 課		1	1				2	4
	1 課		2	3	1	2	4		12
	2 課		2	4		2	4		12
	3 課		2	4	1	2	3		12
大 口 出 張 所	専 門 員			1					1
	1 係			2	2		1		5
	2 係			2	1	1	1		5
	3 係		1	1	2		1		5
扶 桑 出 張 所	専 門 員			1					1
	1 係			2	1	1	1		5
	2 係		1	2	1		1		5
	3 係			2	1	1	1		5
尾張中北消防指令センター			1	1	1				3
合 計		1	17	30	13	9	17	3	90

消防力の比較（面積・人口・世帯）

令和7年4月1日

	面 積	人 口	世帯数	現有消防力
		(令和7年3月31日)	(令和7年3月31日)	
消防吏員1人 あたり	0.29 km ²	677 人	292 世帯	消防吏員 87 人
消防ポンプ自動車1台 あたり	6.2 km ²	14,729 人	6,345 世帯	消防ポンプ自動車 4 台

職員階級別年齢表

令和7年4月1日

階級 年齢	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合計
平均年齢	58.0	53.0	45.4	31.1	27.0	21.5	38.3
18歳						2	2
19歳							
20歳						3	3
21歳						2	2
22歳						6	6
23歳						3	3
24歳					1		1
25歳							
26歳							
27歳					6	1	7
28歳					1		1
29歳				2	1		3
30歳				3			3
31歳				2			2
32歳				4			4
33歳				2			2
34歳			1				1
35歳			1				1
36歳			3				3
37歳							
38歳			2				2
39歳							
40歳							
41歳			2				2
42歳							
43歳			1				1
44歳			3				3
45歳			2				2
46歳			1				1
47歳			1				1
48歳			3				3
49歳		1	2				3
50歳		1	1				2
51歳		5	4				9
52歳		2					2
53歳			1				1
54歳		2					2
55歳		3					3
56歳		1					1
57歳		2					2
58歳	1						1
59歳							
60歳			2				2
61歳							
合計	1	17	30	13	9	17	87

* 再任用職員は含まない

職員勤続年数表

令和7年4月1日

階級 年齢	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合計
1年未満						5	5
1年						6	6
2年						3	3
3年						2	2
4年					1	1	2
5年					1		1
6年					3		3
7年				1	1		2
8年				1	1		2
9年				1	2		3
10年				1			1
11年				3			3
12年			1	4			5
13年			1	1			2
14年			3	1			4
15年			1				1
16年							
17年			1				1
18年			2				2
19年							
20年			1				1
21年			1				1
22年			1				1
23年							
24年							
25年			3				3
26年			3				3
27年		2					2
28年		2	3				5
29年							
30年		1	3				4
31年		2	3				5
32年		2	1				3
33年		3					3
34年		1					1
35年		1					1
36年							
37年		2	1				3
38年			1				1
39年		1					1
40年	1						1
41年							
42年							
合計	1	17	30	13	9	17	87

* 再任用職員は含まない

職員の資格取得状況

令和7年4月1日

種別 \ 階級	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合計
大型自動車	1	17	29	13	9	1	70
救急隊員適格証Ⅰ課程	1	11	14				26
救急隊員適格証Ⅱ課程	1	11	14				26
救急標準課程		6	4	13	6	5	34
救急救命士		7	13	6	3	2	31
応急手当指導員	1	17	30	13	9	3	73
潜水士	1	14	21		7	1	44
陸上特殊無線技師(2級)	1	3	19	13	9	12	57
陸上特殊無線技師(3級)		14	9				23
小型船舶(2級)	1	8	15	10	1	12	47
足場作業主任者		2	4				6
玉掛け技能	1	17	30	13	9	12	82
小型移動式クレーン	1	17	29	10	4		61
酸素欠乏及び硫化水素危険作業主任者	1	7	11	1			20
特定化学物質等作業主任者技能講習		4	1				5
石綿作業主任者技術講習	1	1					2
衛生管理者		2	1	3			6
予防技術検定資格者		4	4	1			9
職員数	1	17	30	13	9	17	87

* 再任用職員は含まない

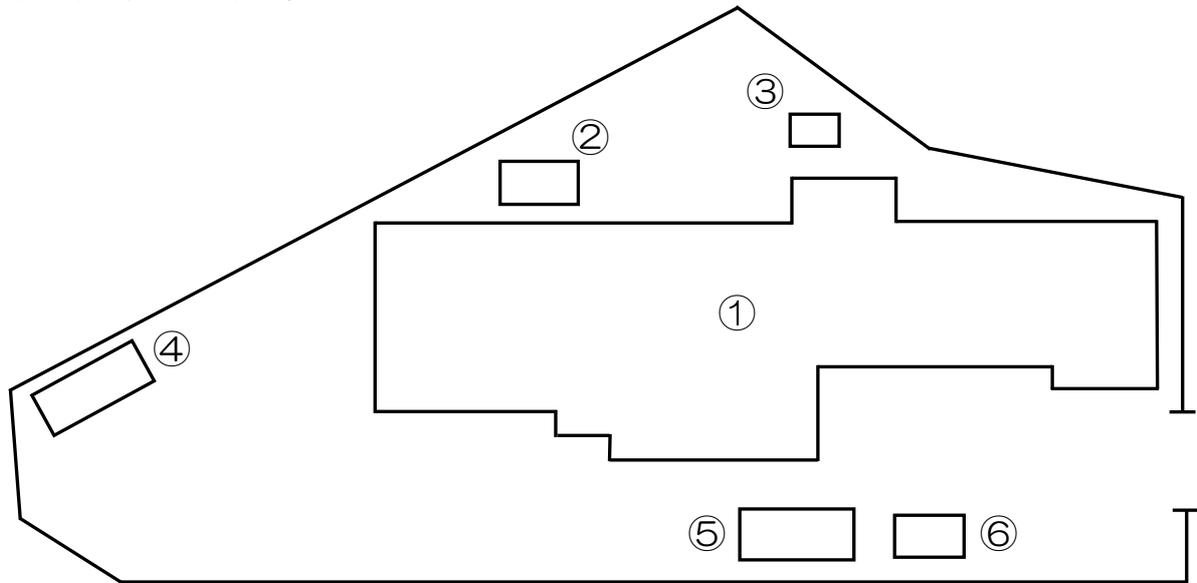
職員教育実施状況

区 分		年 度	令和 6 年度	昭和50年度～令和5年度
消防 大学 校	幹 部 科			7
	上 級 幹 部 科			4
	警 防 科			5
	予 防 科			2
	救 急 科			1
	救 助 科			2
愛 知 県 消 防 学 校	幹 部 科	初 級		29
		中 級	1	28
		上 級		2
	警 防 科	警 防		42
		救 助		27
		無 線		22
	予 防 科	予 防		9
		査 察		14
		危 険 物	1	10
		火 災 調 査	1	14
	救 急 科	標 準 課 程	4	53
		救 急 科 I 課 程		49
		救 急 科 II 課 程		24
		隊 長		9
		愛 知 県 外 傷 講 習	1	34
		救 助 科		23
		水 難 救 助 科		12
		地 震 防 災 科		11
		小 隊 長 科		2
		はしご自動車運用科	1	17
		特 別 教 育 科		2
		機 関 科		10
		地 震 ・ 特 災 科		13
	指 導 員 養 成 科		23	
	体 育 指 導 員 養 成 科		4	
	初 任 科	6	137	
	特 殊 災 害 科		10	
	指 揮 隊 科	1	10	
研 修	尾張西北部救急II課程		31	
	救急救命士養成所	1	26	
	指導救命士養成研修		3	
その他	応急手当指導員	3	103	
合 計		20	824	

《 施 設 ・ 機 械 》

消防庁舎概要

消防本部・消防署



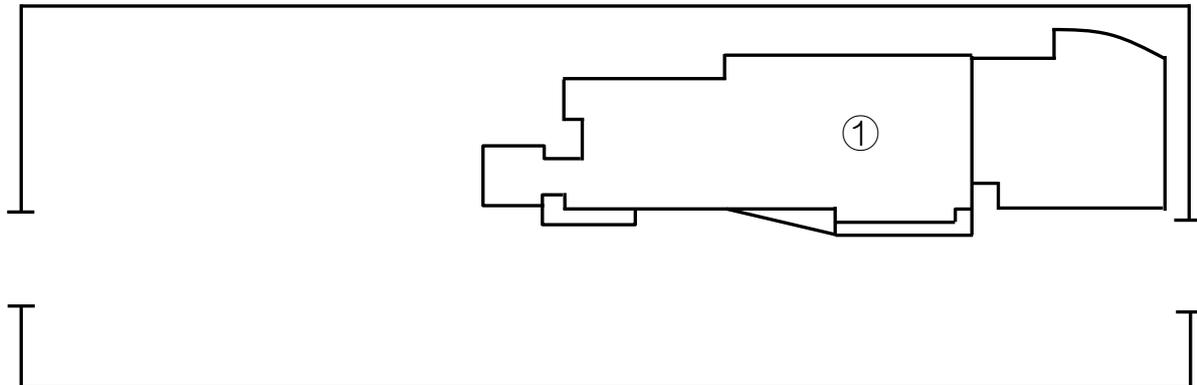
敷地面積 4,635.84㎡

各建物床面積

① 本部庁舎	1 階	881.88㎡	② 電気室	24.75㎡
	2 階	389.20㎡	③ 少量油庫	4.63㎡
	3 階	240.79㎡	④ 倉庫(2階)	79.90㎡
	延床面積	1,511.87㎡	⑤ 車庫	60.00㎡
			⑥ 車庫	52.85㎡
			合 計	1,734.00㎡



大口出張所



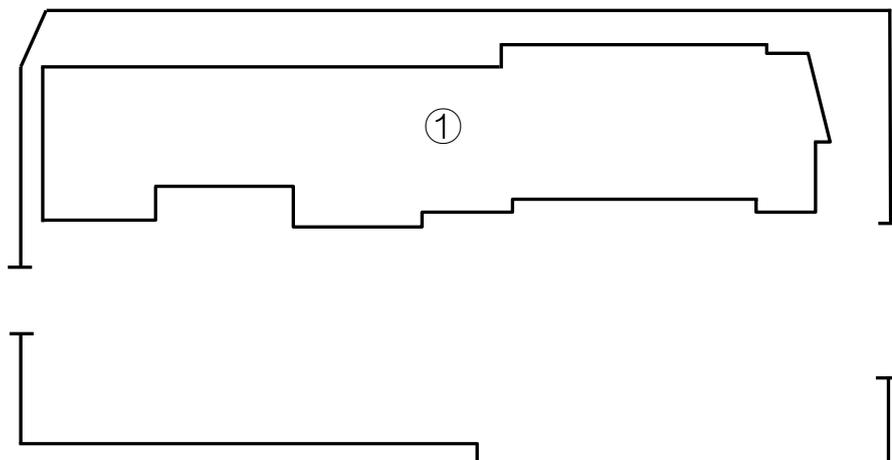
敷地面積 2,797.75 m²

各建物床面積

① 庁舎	1 階	512.10 m ²
	2 階	205.98 m ²
	延床面積	718.08 m ²



扶桑出張所



敷地面積 1,645.80 m²

各建物床面積

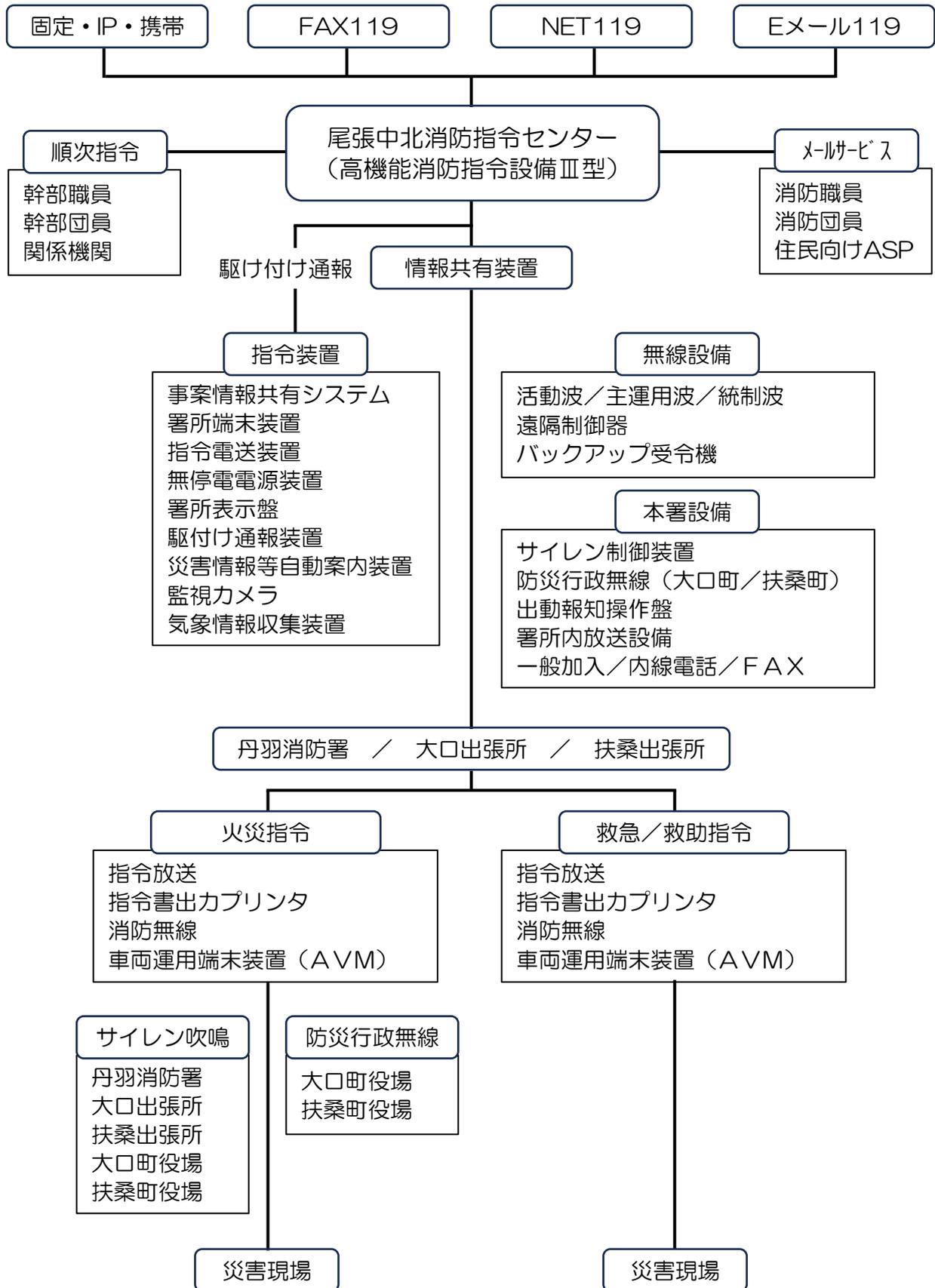
① 庁舎	1 階	460.64 m ²
	2 階	242.21 m ²
	延床面積	702.85 m ²



通 信 指 令 設 備

設 備 名		数	摘 要	
一般加入電話（NTT光回線）		4回線	代 表 95-5151 FAX 95-5157 内線電話	
署所内放送設備（卓上型）		1 式	ページング機能	
（尾 高張 機中 能北 消消 防防 指指 令令 設設 備備 ⅢⅢ 型型 ）	指 令 装 置	署所端末装置	1 式	
		指令情報出力装置	1 式	
		指令書出力プリンタ	1 式	
		署所表示盤	1 式	
		署所表示盤表示制御装置	1 式	
		事案情報共有クライアント	1 式	
		監視カメラ	1 式	
		駆付け通報装置	1 式	
		無停電電源装置	1 式	指令装置系UPS
	気象情報収集装置	1 式	風向／風速／雨量／気温 湿度／気圧	
	無 線 設 備	消防無線	6 波	活動波 4／活動波 7 主運用波 統制波 1／統制波 2／統制波 3
			3 波	466.437 （活動波 1） 466.5250 （活動波 2） 466.775 （防災相互）
		遠隔制御器	1 式	活動波／共通波
		卓上型移動局無線装置	1 式	にわ 100
		指令バックアップ用受信装置	1 式	
署活系無線受令機		1 式		
サイレン制御装置		1 式	丹羽消防署 大口出張所／扶桑出張所 大口町役場／扶桑町役場	
無停電電源装置		1 式	署所NW系UPS	
出動報知操作盤		1 式		
出入口センサー制御盤		1 式		
消防OA端末		1 式		
通信業務用PC		1 式	尾張中北消防指令センター メールサービス／NET119 緊急情報ネットワークシステム	
高度情報通信ネットワーク		1 式	地上系／衛星系 多重チューナー	

通信指令系統図



消防本部・署所消防車両等一覧表

令和7年4月1日

所属	名称	登録番号 (尾張小牧)	種類	初度登録 年月日	経年	ポンプ 規格	定員 (人)	摘要
消防本部	化学消防自動車	830 ひ 21	ヒノ	平成31年 1月15日	6年 2か月	モリタ A 2級	5	緊援隊登録車両 II型CAFS付 水 1,500 L 原液 500 L
	はしご付 消防自動車	830 た 31	ヒノ	平成19年 11月20日	17年 4か月		5	30m級
	救助工作車	830 つ 41	ヒノ	平成18年 11月29日	18年 4か月		5	II型・照明 クレーン・ウインチ
	小型動力 ポンプ付水槽車	830 ち 71	ヒノ	令和2年 1月27日	5年 2か月	シバウラ B 2級	3	I型 水 5,500 L
	指令車	800 せ 2158	トヨタ プリウス	平成22年 11月25日	14年 4か月		5	
	査察車	831 に 119	ニッサン エルグランド	平成15年 9月30日	21年 6か月		8	
	広報1号車	880 あ 350	スズキ エブリイ	平成21年 9月25日	15年 6か月		4	軽自動車
	指揮支援車	800 せ 3001	トヨタ ハイエース	平成24年 8月28日	12年 7か月		6	
	指揮車	830 ひ 51	トヨタ ハイエース	平成26年 12月2日	10年 3か月		5	
	資材搬送車	830 に 72	イズブ エルフ	令和3年 1月26日	4年 2か月		3	緊援隊登録車両 パワーゲートリフター
	高規格救急車 (救急1号車)	830 そ 991	トヨタ ハイエース	令和7年 2月19日	1か月		7	防衛省補助
	警防連絡車	800 さ 9798	ニッサン テラノ	平成13年 2月7日	24年 1か月		5	大口町より寄贈
連絡車	480 え 1699	スズキ エブリイ	平成20年 8月6日	16年 7か月		4	軽自動車	
大口出張所	水槽付消防 ポンプ自動車 (タンク2号車)	800 は 791	ヒノ	平成25年 12月9日	11年 3か月	モリタ A 2級	5	緊援隊登録車両 II型CAFS付 水 2,000 L
	消防ポンプ 自動車 (ポンプ2号車)	830 ぬ 13	ヒノ	平成24年 12月9日	12年 3か月	モリタ A 2級	5	CD-I型CAFS付 水 600L
	高規格救急車 (救急3号車)	830 す 993	トヨタ ハイエース	令和6年 2月7日	1年 1か月		7	緊援隊登録車両
扶桑出張所	水槽付消防 ポンプ自動車 (タンク1号車)	807 る 1	ヒノ	令和5年 2月13日	2年 1か月	モリタ A 2級	5	防衛省補助 II型CAFS付 水 2,000 L
	消防ポンプ 自動車 (ポンプ1号車)	831 す 11	ヒノ	平成26年 12月11日	10年 3か月	モリタ A 2級	5	防衛省補助 CD-I型CAFS付 水 600L
	高規格救急車 (救急2号車)	830 す 992	トヨタ ハイエース	平成30年 2月16日	7年 1か月		7	防衛省補助

消防専用無線電話設備

令和7年4月1日

遠隔制御器（尾張中北消防指令センター）

呼び出し名称	製造業者・年月	出力
なかきたしれい	NEC 平成27. 7	5W

遠隔制御器（丹羽消防通信室）

呼び出し名称	製造業者・年月	出力
にわしょうぼう	NEC 平成27. 7	5W

陸上移動局車載用

呼び出し名称	搭載車両名	製造業者・年月	出力
にわ 1	タンク 1 号車	NEC 平成27. 7	10W
にわ 2	タンク 2 号車		
にわ 1 1	ポンプ 1 号車		
にわ 1 2	ポンプ 2 号車		
にわ 2 1	化学車		
にわ 3 1	はしご車		
にわ 4 1	救助工作車		
にわ 5 1	指揮車		
にわ 5 2	指揮支援車		
にわ 7 1	水槽車		
にわ 7 2	資材搬送車		
きゅうきゅうにわ 1	救急 1 号車		
きゅうきゅうにわ 2	救急 2 号車		
きゅうきゅうにわ 3	救急 3 号車		

陸上移動局携帯用

呼び出し名称	製造業者・年月	出力
にわ 3 0 1	NEC 平成27. 7	2W
にわ 3 0 2		
にわ 3 0 3		
にわ 3 0 4		
にわ 3 1 1		
にわ 3 1 2		
にわ 3 2 1		
にわ 3 2 2		

陸上移動局携帯用（アナログ電波）

呼び出し名称	製造業者・年月	出力
にわ 4 0 1	スタンダード 平成26. 7	1W
にわ 4 0 2	スタンダード 平成26. 7	
にわ 4 0 3	スタンダード 平成26. 7	
にわ 4 0 4	スタンダード 平成26. 7	
にわ 4 0 5	スタンダード 平成26. 7	
にわ 4 0 6	スタンダード 平成26. 7	
にわ 4 0 7	スタンダード 平成26. 7	
にわ 4 0 8	スタンダード 平成26. 7	
にわ 4 0 9	スタンダード 平成28. 8	
にわ 4 1 1	スタンダード 平成26. 7	
にわ 4 1 2	スタンダード 平成26. 7	
にわ 4 1 3	スタンダード 平成26. 7	
にわ 4 1 4	スタンダード 平成26. 7	
にわ 4 1 5	スタンダード 令和元. 9	
にわ 4 2 1	スタンダード 平成26. 7	
にわ 4 2 2	スタンダード 平成26. 7	
にわ 4 2 3	スタンダード 平成26. 7	
にわ 4 2 4	スタンダード 平成26. 7	
にわ 4 2 5	スタンダード 令和元. 9	
にわ 4 3 1	スタンダード 平成29. 10	
にわ 4 3 2	スタンダード 平成29. 10	
にわ 4 3 3	スタンダード 平成29. 10	
にわ 4 4 1	スタンダード 令和 3. 2	
にわ 4 4 2	スタンダード 令和 3. 2	
にわ 4 4 3	スタンダード 令和 3. 2	

陸上移動局卓上型

呼び出し名称	製造業者・年月	出力
にわ 1 0 0	NEC 平成27. 7	5W

陸上移動局可搬型

呼び出し名称	製造業者・年月	出力
にわ 2 0 0	NEC 平成27. 7	5W

消防用主要機器材一覧表

ホース	65mm	150	担架	バスケットストレッチャー	1
	50mm	127		ワイヤーストレッチャー	1
	40mm	34		バーティカルストレッチャー	1
	水幕ホース	6		S K E D	1
筒先	ピアッシングノズル	1	画像装置	熱画像装置K 2	2
	フォグガン	1		熱画像装置Y O N E	2
	Gフォーストリガーノズル	4		簡易画像探査機ボーカメ	1
	クアドラ	11	縛着器具	ピタゴール	5
	クールファイター	6		D X サバイバースリング	1
	エコファイター	8	拡張機具	ロングジャッキ	2
	A B 管槍	3		可搬式ウインチ	2
	無反動ノズル	4		空気式救助マット一式	1
	フリップチップ・プラスノズル	1	油圧機具	スプレッダー	1
	泡発砲ノズル	3		カッター	1
	簡易高発泡器	1		フロントライナー	1
	ピックアップ式泡ノズル	1		テレスコピックラム	1
	ジェットシューター	3		コンビツール一式	2
ウォーターカーテン	1	切断破壊機具		ハンマードリル	1
耐熱服	2		エンジンカッター	4	
空気呼吸器	27		チェーンソー	3	
耐電衣	4		削岩機	1	
フルボディーハーネス	6		油圧式鉄筋カッター	1	
化学防護服(陽圧式)	4		レシプロソー	1	
化学防護服(陰圧式)	6		酸素溶断機(OZ)	1	
P F D	11	舟艇	アルミ救命ボート	1	
潜水器具一式	4		ゴムボート	3	
漏油処理材	60 m		船外機	2	
油吸着剤	オイルフェンス	2 巻	ガス容器	空気ボンベ(29.4Mpa) 4.7L	4
	油吸着剤	5 袋		空気ボンベ(29.4Mpa) 6.8L	71
	油処理剤(シ-ゲリン)	3 缶		空気ボンベ(14.7Mpa) 8.0L	6
				空気ボンベ(14.7Mpa) 14.0L	2
照明	バルーン式投光器	1		OZ用酸素ボンベ	2
	L E D 投光器	2		潜水ボンベ(29.4Mpa) 14.0L	5
	ハロゲン投光器	9		潜水ボンベ(19.6Mpa) 10.0L	4
泡原液	クラスA(C A F S)	480 L		その他機具	加圧式排煙機(エンジン、電気)
	クラスB	910 L	救命索発射銃(空気式)		1
梯子	三連梯子	6	救助用三脚 (アリゾナホーテックス)		1
	かぎ付梯子	5	発動発電機		12
	ワイヤー梯子	1			

救急・その他主要機器材一覧表

救急用具	パルスオキシメーター	6	調査用具	有害ガス判定キット	1
	携帯式心電図モニター	1		マルチ型ガス検知器	3
	車載式心電図モニター	3		デジタルカメラ	10
	喉頭鏡	7		深度計	1
	マギール鉗子	13		巻き尺	7
	聴診器	7		絶縁抵抗器	1
	電動吸引器	6		圧力等測定器	1
	血圧計	12		レーザー距離計	1
	手動式人工呼吸器	17		教育訓練用具	救助用訓練人形
	陰圧式固定器具	1	高度シミュレーター人形		4
	バックボード	12	心肺蘇生訓練人形		7
	ペディスリーブ	3	アクター911		1
	ショートボード	4	レサシジュニア		3
	スクープストレッチャー	3	レサシベビー		3
	エアストレッチャー	3	リトルアン		8
	エアバッグカバー	4	リトルjr.		1
	卓上シーラー	3	AEDトレーナー		12
	滅菌ロッカー	3	喉頭鏡訓練人形		3
	酸素ボンベ(14.7Mpa) 2.0 L	28	エピペン練習用キット		18
	酸素ボンベ(14.7Mpa) 10.0 L	16	消火器(水)	33	
AED	9	ビデオプロジェクター	4		
全自動小型高圧蒸気滅菌器	1	DVDプレーヤー	3		
CO2モニター	3	スクリーン	2		
サムスリング	7	ビデオカメラ	1		
ターニケット	7	体力錬成機器	3		
オゾン発生装置	3	救助訓練安全ネット	1		
電動式心肺人工蘇生器(コーハ [®] ルスcpr)	2	救助訓練安全マット	7		
		体育用マット	10		
災害対策用具	テント	4	作業用具	各種工具セット	3
	ワンタッチテント	2		電気溶接機	1
	担架	10		車両用ジャッキ	3
	バール	6		コンプレッサー	3
	金てこバール	6		切断機	1
	クリッパー	6		電気のこぎり	1
	ダルマジヤッキ	6		電気ドリル	1
	のこぎり	6		高圧洗浄機	1
	オノ(小)	6		インパクトドライバー	1
	オノ(大)	3		草刈り機	1
	スコップ	2			
	ウェーダー	8			

消防水利の設置基準

丹羽広域事務組合管内の消防水利事務は大口町・扶桑町が消防水利の基準に基づき整備している。

1 消防水利の種類

- (1) 消火栓 (2) 私設消火栓 (3) 防火水槽 (4) プール (5) 河川、溝等
(6) 濠、池等 (7) 海、湖 (8) 井戸 (9) 下水道

2 消防水利の給水能力

- (1) 消防水利は常時貯水量が40m³以上又は取水可能水量が毎分1m³以上でかつ連続40分以上の給水能力を必要とする。
(2) 消火栓は、呼称65の口径を有し、直径150mm以上の管に取り付けられていなければならない。
(3) 私設消火栓の水源は、5個の私設消火栓を同時に開栓したとき(1)の給水能力を有するものであること。

3 消防水利の配置

- (1) 市街地又は準市街地の防火対象物から一の消防水利に至る距離が、別表に掲げる数値以下となるように設けなければならない。
(2) 市街地又は準市街地以外の防火対象物から一の消防水利に至る距離が、140m以下となるように設けなければならない。
(3) 消防水利の配置は、消火栓のみに偏することのないように考慮しなければならない。

4 消防水利の構造

- (1) 地盤面からの落差が4.5m以下であること。
(2) 取水部分の水深が0.5m以上であること。
(3) 消防ポンプ自動車容易に部署できること。
(4) 吸管投入孔のある場合は、その一辺が0.6m以上又は直径が0.6m以上であること。

以上のような基準に基づき整備されている。

(別表)

用途地域	平均風速	年間平均風速が4 m/s未満のもの	年間平均風速が4 m/s以上のもの
近隣商業地域、商業地域、工業地域、工業専用地域		100 m	80 m
その他の用途地域及び用途地域の定められていない地域		120 m	100 m

消防水利設置状況

令和7年4月1日

水利区分 管 区 別		消 火 栓				防 火 水 槽					指 定 水 利	合 計	
		150 mm 以 上	100 mm	75 mm	計	有 蓋		耐 震		計			
						40 m ³ 未 満	40 m ³ 以 上	40 m ³ 以 上	100 m ³ 以 上				
大 口 町	南管区	秋 田	3	11	7	21		6	9		15	10	46
		豊 田	1	5	20	26		6	4		10	15	51
		大屋敷	7	2	7	16		6	8	1	15	13	44
	北管区	外 坪		1	8	9		5	2		7	10	26
		河 北	5		8	13		5	2	1	8	8	29
		上小口	7		11	18		7	5		12	9	39
	中管区	中小口	4	3	15	22		5	7		12	23	57
		下小口	5	9	17	31		9	8	1	18	21	70
		余 野	15	7	11	33	1	7	10		18	7	58
	計		47	38	104	189	1	56	55	3	115	116	420
扶 桑 町	高雄管区	高 雄	36	9	29	74	26	51	9	1	87	17	178
	山名管区	山 那				0		5	1		6		6
		小 淵		1		1		5	1		6		7
		南山名	9	9	7	25	8	20	10	1	39	7	71
	柏森管区	斎 藤	12	3	9	24	7	18	4		29		53
		高 木	1	1	3	5	2	9	3		14		19
		柏 森	21	6	12	39		28	9	1	38	6	83
計		79	29	60	168	43	136	37	3	219	30	417	
合 計		126	67	164	357	44	192	92	6	334	146	837	

《 火 災 統 計 》

火災の定義等

火災

「火災」とは、人の意図に反して発生し若しくは拡大し、又は放火により発生して消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの、又は人の意図に反して発生し若しくは拡大した爆発現象をいう。

火災の種別

火災は、次の種別に区分する。この場合において、火災の種別が2以上複合するときは、焼き損害額の大なるものの種別による。

1 建物火災	建物又はその収容物が焼損した火災をいう。
2 林野火災	森林・原野又は牧野が焼損した火災をいう。
3 車両火災	原動機によって運行することができる車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。
4 船舶火災	船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。
5 航空機火災	航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。
6 その他火災	1～5に含まれない火災をいう。
7 爆発	人の意図に反して発生し又は拡大した爆発現象をいう。

火災損害

火災によって受けた直接的な損害であり、間接的な損害（消火のために要した経費等）を除く。火災損害＝焼き損害（焼けた損害）＋消火損害（消火により受けた損害）＋爆発損害（爆発により受けた損害）

損害額の算出方法

棟とは、一つの独立した建物であり、焼損の程度は、次のとおりとする。

1 全焼	建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の70%以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。
2 半焼	建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20%以上のもので全焼に該当しないものをいう。
3 部分焼	建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20%未満のものでぼやに該当しないものをいう。
4 ぼや	建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の10%未満であり焼損床面積が1㎡未満のもの、建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の10%未満であり焼損表面積が1㎡未満のもの、又は収容物のみ焼損したものをいう。

（その他火災の説明）

その他火災とは、建物・林野・車両・船舶及び航空機の各火災種別に該当しない火災をいう。例えば、建物の外壁・屋根等に取り付けてある看板・ネオン塔・広告等・物干し・日除け・建物に付属する門（長屋門は除く）への類・公衆電話ボックス・郵便ポスト・路上広告塔・電柱・アーケード・公園の芝生・道路堤防法面・荒地の芝草・枯草立木類・野積わら・薪・建築材料・廃材等が焼損した火災が含まれる。

過去5年間の火災状況

年 別		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
区 別						
火 災 件 数		19 件	23 件	27 件	15 件	29 件
損害額（千円）		19,473	117,300	40,206	45,350	44,944
死 者 数		3 人	—	1 人	—	1 人
負 傷 者 数		1 人	1 人	5 人	3 人	7 人
り 災 世 帯 数		16 世帯	—	12 世帯	19 世帯	10 世帯
り 災 人 員 数		34 人	—	20 人	52 人	34 人
建 物	件 数	13 件	11 件	16 件	10 件	14 件
	焼 損 面 積	494 m ²	652 m ²	342 m ²	571 m ²	356 m ²
	1 件当たり 焼 損 面 積	38 m ²	59 m ²	21 m ²	57 m ²	25 m ²
	損害額（千円）	19,397	116,956	29,835	45,120	21,573
	1 件当たり 損害額（千円）	1,492	10,632	1,865	4,512	1,541
車 両	件 数	—	3 件	2 件	1 件	3 件
	損害額（千円）	—	322	5,997	230	778
そ の 他	件 数	6 件	9 件	9 件	4 件	12 件
	損害額（千円）	76	22	4,374	—	22,593

火災件数（月別）

令和6年1月1日～12月31日

町別 月別	大 口 町			扶 桑 町			合 計
	建 物	車 両	その他	建 物	車 両	その他	
1 月	1			1		1	3
2 月	1		3	1			5
3 月			1				1
4 月	2	1				1	4
5 月			1	1			2
6 月	1	1		1			3
7 月	1						1
8 月			1	1	1	1	4
9 月							
10 月							
11 月	1		1				2
12 月	1		1	1		1	4
計	8	2	8	6	1	4	29
合 計	18			11			

火災件数（湿度・風速別）

令和6年1月1日～12月31日

区分	種別	建 物	車 両	その他	計
湿 度 (%)	20%未満	1			1
	20～24			1	1
	25～29			1	1
	30～34	1			1
	35～39			2	2
	40～44	1	1	2	4
	45～49			1	1
	50～54	3			3
	55～59		1	2	3
	60～64	1		2	3
	65～69				
	70～74				
	75～79	2			2
	80～89	2		1	3
	90%以上	3	1		4
不 明					
合 計		14	3	12	29
風 速 (m/s)	2 m 未満	5	2	6	13
	2 ～ 3.9	7	1	3	11
	4 ～ 5.9			2	2
	6 ～ 7.9	2		1	3
	8 ～ 9.9				
	10 m 以上				
	不 明				

火災件数（覚知時間別）

年 別 時間別		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	計
昼 間	6時		1	4	1			1		1	1	9
	7時		1							1	1	3
	8時		1	1								2
	9時	3	1	1	1	1	2		3	1		13
	10時			1	1	3	1	1	4		1	12
	11時	1			1	1		2		1	1	7
	12時	3			1	1	1	3	1	1	2	13
	13時				1	3	5		4	2	1	16
	14時			1	1		3	3	2		3	13
	15時	2	3		2				3	1		11
	16時				1		1	1	4		1	8
	17時			1	1	2		2	2	1	2	11
	計	9	7	9	11	11	13	13	23	9	13	118
	夜 間	18時		1	1	3	2	1		1		5
19時					1	1	1	1			1	5
20時		2			1	1					3	7
21時		1	1		3					2		7
22時			1	1	1			1	2	1	2	9
23時			1	1		1			1		2	6
0時		1	2		1	1		1			1	7
1時		1	3				1			2	1	8
2時		1	1		1							3
3時		1						3				4
4時		1			1			1			1	4
5時		1	1		2		3	3		1		11
計		9	11	3	14	6	6	10	4	6	16	85
合 計	18	18	12	25	17	19	23	27	15	29	203	

火災件数（曜日・地区別）

年 別 区 分		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	計
曜 日 別	日	3	3	2	7	2	5	2	3	4	4	35
	月	2	3	3	4		3	4	4	1	4	28
	火	3	1	1		2	1	1	6	1	1	17
	水	1	3	1	5	1	5	5		1	4	26
	木		1	1	4	4	1	2	6	2	4	25
	金	3	7		2	3	2	8	4	5	5	39
	土	6		4	3	4	2	1	4	1	7	32
	不 明					1						1
合 計		18	18	12	25	17	19	23	27	15	29	203
大 口 町	秋 田	1				1	2	3	1		3	11
	豊 田	2		1	1	2	2	1	2	2	1	14
	大屋敷	1	1		3					2	1	8
	外 坪		2			3	2	1	4		2	14
	河 北	2			1	2	1	1	1	2	4	14
	余 野	1							1			2
	上小口	2	1	1	1	2	1	2	2	1	1	14
	中小口		1		1		1	1	1	2	1	8
	下小口	1		1		2		2	1	2	4	13
	垣 田				1		1	1	2			5
	さつき ヶ丘										1	1
	計	10	5	3	8	12	10	12	15	11	18	104
扶 桑 町	高 雄	2	6	3	5	1	1	5	6	2	5	36
	山 那			1			1					2
	小 淵	1			1	1						3
	南山名	3	3		6	1	4	3	4		2	26
	斎 藤	1	1	2	1	2			1	2	3	13
	高 木			1	2		2	3				8
	柏 森	1	3	2	2		1		1		1	11
	計	8	13	9	17	5	9	11	12	4	11	99

秋田（秋田・伝右・替地）、豊田（豊田・御供所・奈良子・堀尾跡）、大屋敷（大屋敷・大御堂・高橋・丸）
 河北（河北・仲沖・二ツ屋）、上小口（上小口・萩島）、中小口（中小口・新宮・城屋敷）、下小口（下小口・竹田）

火災件数（原因別）

令和6年1月1日～12月31日

区分 \ 種別	建 物	車 両	そ の 他	計
た ば こ				
た き 火				
火 あ そ び				
こ ん ろ	2			2
放 火		1		1
風 呂 ・ か ま ど				
ス ト ー ブ				
放 火 の 疑 い	1		4	5
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	1			1
焼 却 炉				
電 気 機 器	2			2
溶 接 機 ・ 切 断 機	2		1	3
排 気 管		1		1
火 入 れ				
電 灯 電 話 等 の 電 配 線	1			1
そ の 他	4	1	6	11
不 明	1		1	2
合 計	14	3	12	29

令和6年火災一覧表

番号	月 日	覚知方法	覚知時刻	出火場所	火災種別	出火原因	焼損程度 全・半・部	焼損床面積 (㎡)	損害額 (千円)	死者	負傷者	天気	気温 (℃)	湿度 (%)	風向・風速 (m/s)
1	1月6日	携帯電話 119	22:38	扶桑町 柏森	建物	リビングテーブルのティッシュ箱上に置いてあったスマートフォンのリチウム電池が異常発熱し出火したものと推定する。	ぼや	0	141	0	0	晴	7	93	北東 1
2	1月19日	事後聞知	11:01	大口町 竹田	建物	アーク溶接作業時の火種が、集塵機上部開口部の排気口より進入し、筒状部分のスポンジ様の物質に着火し、天板内側の前面に延焼したものと判定する。	ぼや	0	67	0	0	晴	13	52	北北西 3
3	1月28日	事後聞知	17:44	扶桑町 斎藤	その他	何者かが何らかの火源を用い畑内の枯葉、枯草に火をつけた放火の疑いと推定する。			0	0	0	雲	8	38	北西 6
4	2月9日	事後聞知	18:13	大口町 下小口	その他	何者かがマッチを用いて、落ち葉及び枯れ枝等に放火したものと推定する。			0	0	0	晴	8	43	南西 1
5	2月10日	携帯電話 119	7:18	大口町 二ツ屋	その他	集積されたチップの内部から自然発火し、周囲に延焼したと推定する。			0	0	0	晴	0	84	北東 2
6	2月10日	固定電話	18:43	大口町 萩島	その他	グラインダーで集塵機を切断している際に、グラインダーの火花が集塵機内の木屑に飛び火し、フィルター等に延焼拡大したものの。			0	0	0	晴	9	45	北西 4
7	2月26日	事後聞知	17:58	扶桑町 南山名	建物	ライターの誤操作により紙袋に引火し、出火したと推定する。	ぼや	0	1	0	0	晴	8	44	北西 7
8	2月28日	事後聞知	20:57	大口町 替地	建物	グラインダーで金属を削る作業をしている際に発生した火花が気化したトルエンシンナーに引火し、出火したと判定する。	ぼや	0	168	0	1	晴	7	51	北西 2
9	3月27日	携帯電話 119	20:36	大口町 竹田	その他	何らかの発火源を用いて枯草に火をつけ、延焼拡大した放火の疑いと推定する。			0	0	0	晴	9	55	南 1
10	4月19日	事後聞知	14:39	大口町 外坪	建物	ロウ付け機の火口が通常よりも過熱されたことによりガスに引火し、その後、ガスホースが破裂し出火したと推定する。	ぼや	0	30	0	0	晴	25	18	北西 7
11	4月20日	事後聞知	12:31	扶桑町 高雄	その他	ガスバーナーで庭の芝生を焼却していたところ、立木に燃え移ったものと推定する。			0	0	0	雲	25	23	西 2
12	4月23日	携帯電話 119	18:11	大口町 替地	建物	超仕上げ加工機のクーラント液が何らかの原因により注油不良となり、ドライ加工になり摩擦熱により出火しスラッジに引火、延焼拡大したものと推定する。	ぼや	0	693	0	0	雲	19	79	北東 1
13	4月25日	携帯電話 119	23:53	大口町 さつきヶ丘	車両	自身に火をつけ、熱さのあまり暴れまわり軽自動車へ進入し座席シートに燃え移り、延焼したと推定する。			64	0	1	晴	17	55	北東 1
14	5月4日	携帯電話 119	19:05	扶桑町 斎藤	建物	肉を一気に焼いたところにより通常より炎が立ち上がり、その炎が吸気取入口から吸引され、ダクト内に固着した油分に着火し出火したものと判定する。	ぼや	0	30	0	2	雲	24	33	南 2
15	5月23日	IP119	20:42	大口町 大御堂	その他	廃材資材が、何らかの原因により出火したものの。			0	0	0	雲	22	62	南 2
16	6月2日	事後聞知	16:43	扶桑町 南山名	建物	疑似的な空焚き状態になった状態で業務用ガスフライヤーの排油作業をする際、高温状態のヒートパイプ周囲に油かすが触れ、発火したと判定する。	ぼや	0	0	0	0	雲	23	57	北北西 3

番号	月 日	覚知方法	覚知時刻	出火場所	火災種別	出火原因	焼損程度 全・半・部	焼損床面積 (㎡)	損害額 (千円)	死者	負傷者	天気	気温 (℃)	湿度 (%)	風向・風速 (m/s)
17	6月10日	IP119	1:38	大口町 外坪	建物	何者かが侵入又は潜み放火した可能性が高いと推定する。	ぼや	0	0	0	0	雨	18	94	北東 1
18	6月23日	携帯電話 119	23:07	大口町 御供所	車両	エンジンオイルが何らかの原因で漏油し、エンジンルーム内の熱によって発火し、延焼拡大したと推定する。			509	0	0	雨	23	95	南 1
19	7月24日	携帯電話 119	4:48	大口町 仲沖	建物	コンセントプラグの漏電により出火し、機械油が染み込んだ軍手やウエス等の堆積物を伝ってフライス盤に延焼したと推定する。	ぼや	0	0	0	0	晴	28	81	北東 2
20	8月1日	事後聞知	0:52	扶桑町 高雄	建物	モバイルバッテリーを充電している際に、バッテリー内部で何らかの原因により出火し、焼損したものと推定する。	ぼや	0	15	0	0	晴	27	64	西北西 3
21	8月7日	携帯電話 119	14:23	扶桑町 斎藤	車両	ショベルカーのマフラーの亀裂から、高温の排気ガスが漏れ、排気ガスがあたり遮音材や遮熱材の発火温度に達し出火し、延焼したものと判定する。			205	0	0	快晴	35	41	南西 4
22	8月9日	携帯電話 119	18:39	扶桑町 高雄	その他	電車のブレーキにより発生した火花が乾燥した枕木に着火したと推定する。			0	0	0	晴	33	56	西北西 4
23	8月15日	携帯電話 119	14:59	大口町 河北	その他	ごみを燃やした後、じょうろで水をかけて消火したと思ったが消えておらず、その残り火が周辺の枯草に燃え広がったものと判定する。			55	0	0	晴	36	40	南西 2
24	11月15日	携帯電話 119	10:59	大口町 下小口	建物	鍋の油に凝固剤を入れ、ガスコンロを点火したまま、その場を離れたため油が過熱され出火したものと判定する。	全焼	238㎡	5,891	0	1	晴	19	77	北北東 1
25	11月25日	携帯電話 119	12:58	大口町 仲沖	その他	野焼きの残り火に水をかけ消火したと思ったが消えておらず、その残り火が敷地境界線付近の土手の枯草及びパレット等に燃え広がったものと判定する。			0	0	0	晴	17	26	西北西 2
26	12月1日	携帯電話 119	6:04	大口町 替地	建物	2階居室より出火したもの。出火原因にあつては不明とする。	全焼	117.5㎡	14,529	1	2	晴	5	93	北東 3
27	12月14日	事後聞知	18:47	扶桑町 高雄	その他	何らかの原因により出火、放火の疑いと推定する。			0	0	0	晴	7	35	北 1
28	12月23日	事後聞知	22:37	扶桑町 高雄	建物	魚焼きグリルのスイッチを切り忘れ、そのまま火が付いた状態で放置したことにより、グリル内に付着した油かすに着火したものと判定する。	ぼや	0	8	0	0	雨	4	87	北東 1
29	12月28日	携帯電話 119	13:32	大口町 中小口	その他	集塵機内で粉塵爆発が発生し、収容物に燃え移ったと推定する。			22,538	0	0	雨	6	62	北西 4

火災件数	29件	合計損害額	44,944千円
建物焼損面積	355.5㎡ (大口町 355.5㎡ ・ 扶桑町 0㎡)	建物損害額	21,573千円 (大口町 21,378千円 ・ 扶桑町 195千円)
死者	1人 (大口町 1人 ・ 扶桑町 0人)	車両損害額	778千円 (大口町 573千円 ・ 扶桑町 205千円)
負傷者	7人 (大口町 5人 ・ 扶桑町 2人)	その他損害額	22,593千円 (大口町 22,593千円 ・ 扶桑町 0千円)

《 救急・救助統計 》

救急の定義等

救急業務

救急業務とは、災害により生じた事故若しくは屋外若しくは公衆の出入りする場所において生じた事故、又は政令で定める場合における災害による事故等に準ずる事故その他の事由で政令で定めるものによる傷病者のうち、医療機関その他の場所へ緊急に搬送する必要があるものを、救急隊によって医療機関その他の場所に搬送することをいう。

各種別の説明

火	災	火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。
自然災害	事故	暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然災害に起因する災害による事故をいう。
水難	事故	水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
交通	事故	すべての交通機関相互の衝突及び接触による事故又は単一事故、若しくは歩行者が交通機関に接したこと等による事故をいう。
労働災害	事故	各種工場、事業所、作業所、工事現場等において就業中発生した事故をいう。
運動競技	事故	運動競技の実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者、審判員及び関係者等の事故をいう。
一般	負傷	他に分類されない不慮の事故をいう。
加	害	故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。
自損	行為	故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。
急	病	疾病によるもので救急業務として行ったものをいう。
その他	転院搬送	医療機関に収容された者を、何らかの理由により他の医療機関へ搬送したものをいう。
	医師搬送	災害現場への医師、看護師等の搬送をいう。ただし、転院搬送時は含まない。
	資器材輸送	災害現場への資器材、医療器材等の搬送及び医療機関等への医療器材等の搬送をいう。
	その他	その他のもの。傷病者不搬送件数のうち上記救急事故に分類されないものを含む。

過去5年間の救急出場状況

種 別		年 別				
		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
火 災	出場件数	17	13	14	11	14
	搬送人員	1		2	3	5
自然災害 事 故	出場件数			1		
	搬送人員					
水難事故	出場件数		1	1	2	1
	搬送人員					1
交通事故	出場件数	181	179	193	185	194
	搬送人員	191	182	190	189	185
労働災害 事 故	出場件数	29	22	39	37	37
	搬送人員	28	22	39	36	37
運動競技 事 故	出場件数	3	10	6	11	12
	搬送人員	3	10	6	10	11
一般負傷	出場件数	354	334	410	438	433
	搬送人員	341	324	379	411	406
加 害	出場件数	5	4	4	7	4
	搬送人員	4	2	1	4	2
自損行為	出場件数	17	27	19	25	27
	搬送人員	10	19	12	22	22
急 病	出場件数	1,379	1,545	1,882	1,842	1,958
	搬送人員	1,291	1,422	1,705	1,734	1,831
そ の 他	出場件数	56	70	107	112	107
	搬送人員	49	50	65	63	56
合 計	出場件数	2,041	2,205	2,676	2,670	2,787
	搬送人員	1,918	2,031	2,399	2,472	2,556

救急出場件数（月別）

令和6年1月1日～12月31日

種別		火	事自然	水	交	事労働	事運動	一	加	自	急	そ	計
月別		災	災害	難	通	事故	競技	般	害	損	病	他	
1月	出場件数	1			16	1		40	1	5	186	6	256
	搬送人員				13	1		39	1	5	172	4	235
2月	出場件数	2			17	2		46		1	153	12	233
	搬送人員	1			16	2		43		1	142	3	208
3月	出場件数				13			40		2	157	12	224
	搬送人員				13			33		2	140	6	194
4月	出場件数	1			18	4	1	31		6	132	12	205
	搬送人員				15	4	1	29		6	125	8	188
5月	出場件数	1			19	4	1	31		3	151	10	220
	搬送人員	2			20	4	1	29		1	142	6	205
6月	出場件数	2		1	11	2	5	33		3	144	13	214
	搬送人員			1	11	2	5	31		1	136	6	193
7月	出場件数	1			18	9	2	35		1	207	4	277
	搬送人員				17	9	2	34			196	2	260
8月	出場件数	1			12	6	2	38	2	3	198	12	274
	搬送人員				16	6	1	36	1	3	184	7	254
9月	出場件数				24	2		24			145	5	200
	搬送人員				20	2		23			140	4	189
10月	出場件数				20	2	1	37	1	3	130	6	200
	搬送人員				18	2	1	34		3	119	3	180
11月	出場件数	3			13	1		31			141	8	197
	搬送人員	1			13	1		30			133	4	182
12月	出場件数	2			13	4		47			214	7	287
	搬送人員	1			13	4		45			202	3	268
合計	出場件数	14		1	194	37	12	433	4	27	1,958	107	2,787
	搬送人員	5		1	185	37	11	406	2	22	1,831	56	2,556

救急出場件数（曜日・地区別）

令和6年1月1日～12月31日

種別 区分	火災	事自然 災 故害	水難 事故	交通 事故	事労働 災 故害	事運動 競 技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計	
	曜日別	日	2			21		2	57		3	267	7
	月	2			29	7		68	1	5	308	22	442
	火	1			35	6	2	59		4	317	18	442
	水	2			32	5		53		4	281	17	394
	木				27	7		70	1	6	275	13	399
	金	3		1	28	7		71		3	270	18	401
	土	4			22	5	8	55	2	2	240	12	350
合計		14		1	194	37	12	433	4	27	1,958	107	2,787
大口町	秋田				12	3		7		1	40	1	64
	豊田	4		1	10	10		13			83	11	132
	大屋敷				5		1	20			104	2	132
	外坪	1			11			8			23		43
	河北	2			1	1		14		1	41	2	62
	余野				10	1		29		1	105	9	155
	上小口	1			8	4		15			66	6	100
	中小口	1			19	3	1	10		2	70	10	116
	下小口	2			13	2		21		1	134	5	178
	垣田							11		1	36	1	49
	さつきヶ丘				1			5	1	2	25		34
	計	11		1	90	24	2	153	1	9	727	47	1,065
扶桑町	高雄				45	8	6	123	3	6	460	23	674
	山那							9		1	40		50
	小淵					1		5			22		28
	南山名				14	2		39		4	154	11	224
	斎藤	1			11		3	26		1	134	1	177
	高木				10	1		13			67	1	92
	柏森	2			21	1	1	57		5	316	22	425
	計	3			101	13	10	272	3	17	1,193	58	1,670
管外				3			8		1	38	2	52	

秋田（秋田・伝右・替地）、豊田（豊田・御供所・奈良子・堀尾跡）、大屋敷（大屋敷・大御堂・高橋・丸）
 河北（河北・仲沖・二ツ屋）、上小口（上小口・萩島）、中小口（中小口・新宮・城屋敷）、下小口（下小口・竹田）

救急出場件数（出場時間・現場到着所要時間別）

令和6年1月1日～12月31日

種別		火災	事自然災害	水難事故	交通事故	事労働災害	事運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
時間別													
出場時間帯別	0時～1時台	2			2			17			91	5	117
	2時～3時台			1				12			71	2	86
	4時～5時台	1			9			13			77	3	103
	6時～7時台	1			18			35		2	154	2	212
	8時～9時台				28	7	1	58		3	244	15	356
	10時～11時台	2			27	15	2	55		1	236	33	371
	12時～13時台	2			19	5	5	52		2	217	15	317
	14時～15時台				17	5	4	66		2	176	7	277
	16時～17時台				29	5		38		3	214	10	299
	18時～19時台	3			30			38		3	173	11	258
	20時～21時台	1			8			33	3	6	183	4	238
	22時～23時台	2			7			16	1	5	122		153
合計		14		1	194	37	12	433	4	27	1,958	107	2,787
現場到着所要時間別	3分未満				2			1		1	9	1	14
	3分～4分台				23	3	2	40		3	192	21	284
	5分～9分台			1	139	26	10	343	4	19	1,599	65	2,206
	10分～19分台	14			27	8		49		4	155	18	275
	20分以上				3						3	2	8

*現場到着所要時間 出場から現場到着までの時間

救急搬送人員（年齢・収容所要時間別）

令和6年1月1日～12月31日

区分	種別	火災	事自然災害	水難事故	交通事故	事労働災害	事運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
年齢別	新生児												
	乳幼児				4			24			83		111
	少年				22		10	12			49		93
	成人	3			102	34	1	49	1	18	491	12	711
	高齢者	2		1	57	3		321	1	4	1,208	44	1,641
合計		5		1	185	37	11	406	2	22	1,831	56	2,556
収容所要時間別	10分未満												
	10分～19分台				3	1		4		1	43	3	55
	20分～29分台	1			62	18	4	160		8	872	30	1,155
	30分～59分台	1		1	119	17	7	239	2	12	906	23	1,327
	60分以上	3			1	1		3		1	10		19

*収容所要時間 覚知から医療機関等に収容するまでの時間

救急搬送人員（年齢・傷病程度別）

令和6年1月1日～12月31日

年齢別	種別	死亡	重症	中等症	軽症	その他	計
新生児							
乳幼児			1	46	64		111
少年				26	67		93
成人		5	15	291	399	1	711
高齢者		21	102	868	649	1	1,641
合計		26	118	1,231	1,179	2	2,556

年齢区分

- ・新生児 生後28日未満
- ・乳幼児 生後28日～7歳未満
- ・少年 7歳～18歳未満
- ・成人 18歳～65歳未満
- ・高齢者 65歳以上

傷病程度

- ・重症 21日以上入院を要する
- ・中等症 20日以内入院を要する
- ・軽症 入院を要しない
- ・その他 医師の診断がない

救助活動状況

令和6年1月1日～12月31日

区分		種別	火災	自然災害	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他	計
出動件数	大口町			3	1				11			4	19
	扶桑町			7					20			1	28
	管外												
	合計			10	1				31			5	47
活動件数	大口町			3	1				7			2	13
	扶桑町			2					8			1	11
	管外												
	合計			5	1				15			3	24
救助人員	大口町	死亡							3				3
		重症				1							1
		中等症			1				1			1	3
		軽症			2							1	3
		傷病なし							3				3
		計			3	1			7			2	13
	扶桑町	死亡			2				3				5
		重症							1				1
		中等症							2				2
		軽症							1			1	2
		傷病なし							1				1
		計			2				8			1	11
合計				5	1			15			3	24	

《 指 導 統 計 》

防火対象物一覧表

(棟数別、延べ面積150㎡以上) 令和7年4月1日

町別		大口町	扶桑町	計	
1項	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場		2	2
	ロ	公会堂・集会場	24	25	49
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブの類			
	ロ	遊戯場・ダンスホール	1	1	2
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等			
3項	イ	待合・料理店の類			
	ロ	飲食店	21	30	51
4項		百貨店・マーケット等	30	53	83
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	1		1
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	242	399	641
6項	イ	病院・診療所・助産所	15	26	41
	ロ	老人福祉施設等	7	12	19
	ハ	デイサービス・軽費老人ホーム等	17	18	35
	ニ	幼稚園・盲学校・養護学校	2	1	3
7項		小・中・高等学校・各種学校	17	29	46
8項		図書館・美術館・博物館等	2	1	3
9項	イ	公衆浴場のうち熱気浴場・蒸気浴場			
	ロ	(イ)以外の公衆浴場			
10項		車両の停車場・船舶又は航空機の発着場		1	1
11項		神社・寺院・教会の類	10	19	29
12項	イ	工場・作業場	275	208	483
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ			
13項	イ	自動車車庫・駐車場	11	3	14
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫			
14項		倉庫	194	92	286
15項		前各項に該当しない事業場	97	99	196
16項	イ	特定複合用途防火対象物	49	109	158
	ロ	一般複合用途防火対象物	37	55	92
合 計			1,052	1,183	2,235

建築同意件数（用途別）

令和6年1月1日～12月31日

用途別		町 別				扶桑町			
		大口町				扶桑町			
		新 築	増 築	その他	計	新 築	増 築	その他	計
1 項	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場							
	ロ	公会堂・集会場							
2 項	イ	キャバレー・ナイトクラブの類							
	ロ	遊戯場・ダンスホール							
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等							
	ニ	カラオケボックス等							
3 項	イ	待合・料理店の類							
	ロ	飲食店							
4 項		百貨店・マーケット等							
5 項	イ	旅館・ホテル・宿泊所							
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅							
6 項	イ	病院・診療所・助産所							
	ロ	老人福祉施設等							
	ハ	デイサービス・軽費老人ホーム等							
	ニ	幼稚園・盲学校・養護学校							
7 項		小・中・高等学校・各種学校							
8 項		図書館・美術館・博物館等							
9 項	イ	公衆浴場のうち熱気浴場・蒸気浴場							
	ロ	(イ)以外の公衆浴場							
10 項		車両の停車場・船舶又は航空機の発着場							
11 項		神社・寺院・教会の類							
12 項	イ	工場・作業場							
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ							
13 項	イ	自動車車庫・駐車場							
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫							
14 項		倉庫							
15 項		前各項に該当しない事業場							
16 項	イ	特定複合用途防火対象物							
	ロ	一般複合用途防火対象物							
長 屋		4							
専 用 住 宅		1							
そ の 他		1							
合 計		29							
通 知 書		71							
		5							
		4							
		80							
		178							
		2							
		180							

建築同意件数（月別）

令和6年1月1日～12月31日

月別 \ 町別	大口町	扶桑町	計
1月		1	1
2月		2	2
3月	5	4	9
4月	5	2	7
5月		5	5
6月	3	1	4
7月	3	1	4
8月	6	5	11
9月	3	2	5
10月	2	3	5
11月	1	2	3
12月	2	3	5
合計	30	31	61

階別防火対象物状況（4階以上）

令和6年1月1日～12月31日

階別 \ 町別	大口町	扶桑町	計
4階	68	40	108
5階	18	4	22
6階	5	3	8
7階	3	2	5
8階			
9階		1	1
10階			
11階		1	1
合計	94	51	145

防火管理講習の区分

防火管理講習

甲種・乙種に区分され、事業所の用途・規模に応じて防火管理者を選任することになります。

防火対象物の種別		収容人員	延べ面積	必要資格
6項ロ (16項イ)	特別養護老人ホーム・有料老人ホーム・重症心身障害児施設等及び上記の用途を含む複合用途防火対象物	10人以上		甲種
1～4項 5項イ 6項イ,ハ,ニ 9項イ (16項イ)	劇場・映画館・遊戯場・飲食店・物品販売店(デパート、スーパーなど)・旅館・病院・幼稚園等及び上記の用途を含む複合用途防火対象物	30人以上	300㎡以上	甲種
			300㎡未満	乙種 又は甲種
5項ロ 7項 8項 9項ロ 10～15項 (16項ロ) 17項	共同住宅・学校・倉庫・工場・事務所等及び上記の用途を含む複合用途防火対象物	50人以上	500㎡以上	甲種
			500㎡未満	乙種 又は甲種

講習の日程

甲種防火管理講習 2日間 乙種防火管理講習 1日間

従前の資格

昭和62年4月1日から防火管理講習が甲種と乙種に区分されましたが、昭和62年3月31日までに講習を受けられた方は、甲種防火管理講習の修了者とみなされます。

防火管理者を必要とする事業所数

令和7年4月1日

用途別		町別	大口町		扶桑町	
			対象物数	選任数	対象物数	選任数
1項	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場			2	2
	ロ	公会堂・集会場	24	14	24	14
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブの類				
	ロ	遊戯場・ダンスホール	1	1	1	1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等				
	ニ	カラオケボックス等				
3項	イ	待合・料理店の類				
	ロ	飲食店	24	22	25	20
4項		百貨店・マーケット等	23	14	40	37
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	1	1		
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	35	33	40	29
6項	イ	病院・診療所・助産所	6	6	10	10
	ロ	老人福祉施設等	5	5	11	11
	ハ	デイサービス・軽費老人ホーム等	10	10	14	13
	ニ	幼稚園・盲学校・養護学校	2	2	1	1
7項		小・中・高等学校・各種学校	6	6	10	10
8項		図書館・美術館・博物館等			1	1
11項		神社・寺院・教会の類	6	4	8	7
12項	イ	工場・作業場	34	34	8	8
14項		倉庫	11	11		
15項		前各項に該当しない事業場	6	6	11	9
16項	イ	特定複合用途防火対象物	24	23	30	21
	ロ	一般複合用途防火対象物	2	2	3	3
合		計	220	194	239	197

防災管理者を必要とする事業所数

令和7年4月1日

用途別		町別	大口町		扶桑町	
			対象物数	選任数	対象物数	選任数
4項		百貨店・マーケット等	1	1	1	1
12項	イ	工場・作業場	5	3		
16項	ロ	一般複合用途防火対象物	1	1		
合		計	7	5	1	1

消防用設備等検査状況

令和6年1月1日～12月31日

政 令 の 設 備		設 備 の 種 類	届出件数
消 防 の 用 に 供 する 設 備	消 火 設 備	消 火 器	22
		屋 内 消 火 栓 設 備	7
		ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	2
		水 噴 霧 消 火 設 備	
		泡 消 火 設 備	
		二 酸 化 炭 素 消 火 設 備	
		ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備	
		粉 末 消 火 設 備	4
		屋 外 消 火 栓 設 備	3
		動 力 消 防 ポ ン プ 設 備	
	警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	30
		漏 電 火 災 警 報 器	
		消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	10
		火 災 報 知 設 備	
	避 難 設 備	非 常 警 報 設 備	6
		避 難 器 具	4
		誘 導 灯	17
消 防 用 水			2
消 火 活 動 上 必 要 な 施 設		排 煙 設 備	
		連 結 送 水 管	
合 計			107

消防法・火災予防条例届出件数

令和6年1月1日～12月31日

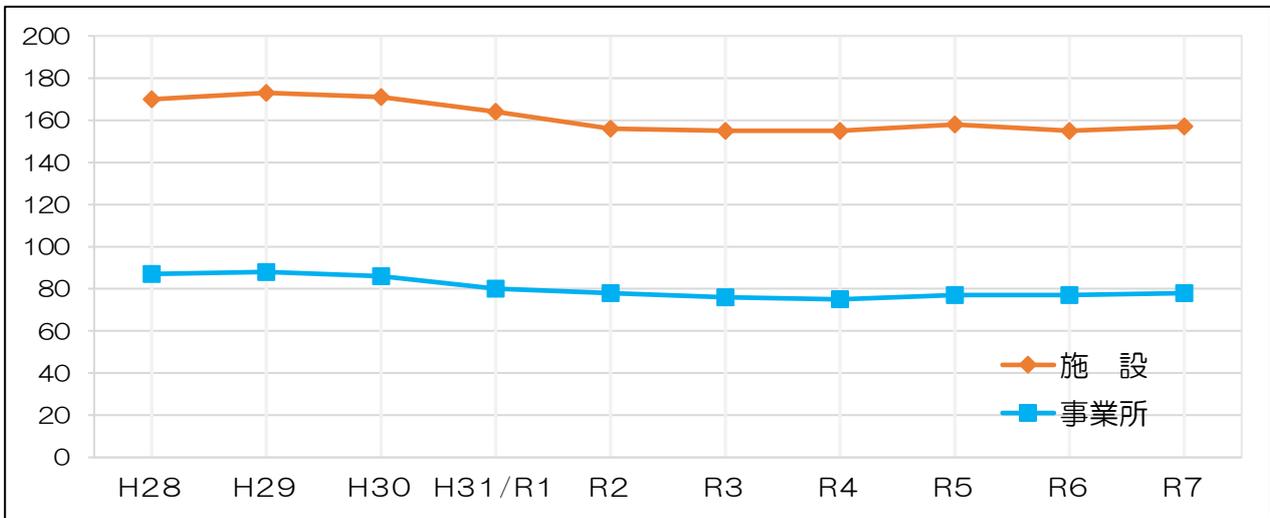
届 出 区 分	届出件数
消防用設備等着工届	88
消防用設備等設置届	112
消防用設備等点検結果報告書届	611
防火・防災管理者選任（解任）届	89
消防計画（防火・防災）作成（変更）届	108
圧縮アセチレンガス・液化石油ガス貯蔵又は取扱い届	21
毒物、劇物貯蔵又は取扱い（廃止）届	
防火対象物使用開始届	29
かまど・炉・ボイラー・乾燥設備・火花を生ずる設備設置届	24
変電・発電・蓄電池設備設置届	13
ネオン管灯設備設置届	
水素ガスを充填する気球の設置届	
露店等の開設届	40
煙火打上げ・仕掛け届	
催物開催届	4
水道断・減水届	30
道路工事届	196
少量危険物・指定可燃物貯蔵又は取扱い（廃止）届	26
火災とまぎらわしい煙又は火炎を發するおそれのある行為の届	39
り災証明願	9
防災物品使用届	2
合 計	1,441

《 危 險 物 統 計 》

過去10年間の危険物施設（事業所）数

各年4月1日時点

区分 \ 年別	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
施設	170	173	171	164	156	155	155	158	155	157
事業所	87	88	86	80	78	76	75	77	77	78



危険物施設の割合

令和7年4月1日

製造所等の別		数量別	施設数
製造所			2
貯蔵所	屋内貯蔵所	60	
	屋外タンク貯蔵所	11	
	屋内タンク貯蔵所	4	
	地下タンク貯蔵所	17	
	簡易タンク貯蔵所		
	移動タンク貯蔵所	7	
	屋外貯蔵所	3	
取扱所	給油取扱所	26	
	販売取扱所		
	移送取扱所		
	一般取扱所	27	
施設総数			157

危険物施設数（数量別）

令和7年4月1日

数量別 製造所等の別		5倍以下	5倍を超え 10倍以下	10倍を超え 50倍以下	50倍を超え 100倍以下	100倍を超え 150倍以下	150倍を超え 200倍以下	200倍を超え 1,000倍以下	1,000倍を超え 5,000倍以下	5,000倍を超え 10,000倍以下	計
製造所				1	1						2
貯蔵所	屋内貯蔵所	31	13	11	1		2		2		60
	屋外タンク貯蔵所	4	3	4							11
	屋内タンク貯蔵所	4									4
	地下タンク貯蔵所	5	5	5	1		1				17
	簡易タンク貯蔵所										
	移動タンク貯蔵所	4			3						7
	屋外貯蔵所	1		1	1						3
取扱所	給油取扱所		1	10	4	2		9			26
	販売取扱所										
	移送取扱所										
	一般取扱所	17	6	4							27
合計		66	28	36	11	2	3	9	2		157

危険物施設数（類別）

令和7年4月1日

類別		第一類	第二類	第三類	第四類	第五類	第六類	混在	計
製造所等の別									
製造所					2				2
貯蔵所	屋内貯蔵所	2		1	55	1		1	60
	屋外タンク貯蔵所				11				11
	屋内タンク貯蔵所				4				4
	地下タンク貯蔵所				17				17
	簡易タンク貯蔵所								
	移動タンク貯蔵所				7				7
	屋外貯蔵所				3				3
取扱所	給油取扱所				26				26
	販売取扱所								
	移送取扱所								
	一般取扱所				25			2	27
合計		2		1	150	1		3	157

危険物事業所に関する届出状況

令和7年4月1日

届出区分	届出件数
危険物施設保安員を要する事業所数	
予防規程の作成を要する事業所数	16
自衛消防組織を要する事業所数	
その他の事業所数	62
合計	78

危険物施設許可・検査・承認・廃止件数

令和6年1月1日～12月31日

製造所等の別	区分	許 可		完成検査		承 認		完成検査前 検 査		廃 止
		設 置	変 更	設 置	変 更	仮使用	仮貯蔵 仮取扱	水 張	水 圧	
製 造 所										
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	3		3						
	屋外タンク貯蔵所									
	屋内タンク貯蔵所									
	地下タンク貯蔵所									
	簡易タンク貯蔵所									
	移動タンク貯蔵所		2		2					1
	屋 外 貯 蔵 所						2			
取 扱 所	給 油 取 扱 所	1	2		2				2	
	販 売 取 扱 所									
	移 送 取 扱 所									
	一 般 取 扱 所	1	5		3	3				
合 計		5	9	3	7	3	2		2	1

危険物等に関する届出状況

令和6年1月1日～12月31日

届 出 区 分	届 出 件 数
保安監督者選任解任届	18
品名・数量変更届	12
譲渡引渡届	
資料提出届	32
事故発生届	2
休止・再開届	
危険作業開始の届	
予防規程認可申請	2
液化石油ガス意見書交付申請	
合 計	66

《 気象統計 》

気象状況（月別）

令和6年1月1日～12月31日

区分 月別	晴 (日)	雲 (日)	雪 (日)	雨					
				降雨日数 (日)	総降雨量 [雪解け水] (mm)	日最大		時間最大	
						日付	雨量 (mm)	日時	雨量 (mm)
1月	11	9	2	9	39.0 [3.0]	21日	14.5	21日 9:09	4.5
2月	13	4		12	124.5	19日	46	21日 16:30	5.5
3月	13	6		12	187	26日	42	12日 13:21	8.5
4月	7	10		13	161.5	3日	48.5	8日 23:23	10
5月	6	12		13	177	28日	51.5	28日 7:35	14.5
6月	4	12		14	216	28日	75	28日 7:35	16
7月	8	11		12	226.5	12日	54.5	12日 6:28	16.5
8月	7	13		11	246	29日	69.5	24日 23:08	34.5
9月	11	7		12	67	10日	24	10日 15:31	14.5
10月	11	7		13	151	3日	30	19日 18:37	22
11月	16	9		5	105	2日	49.5	26日 20:19	14
12月	17	11		3	6	8日	3.5	8日 10:36	3
年間	124	111	2	129	1,706.5 [3.0]	6月28日	75	8月24日 23:08	34.5

* 降雨日数は、日報の天気概況において雨と判断した日数

風向風速の状況（月別）

令和6年1月1日～12月31日

区分 月別	最多風向	平風速均 (m/s)	最大風向風速			最大瞬間風向風速		
			日付	風向	風速 (m/s)	日付	風向	風速 (m/s)
1月	北西	2.2	13日	北西	12.4	13日	北西	21.3
2月	西北西	2.1	26日	北西	9.4	26日	北北西	15.5
3月	西北西	2.8	20日	北西	12.1	18日	北西	20.7
4月	西北西	2.3	1日	西北西	11.3	1日	西北西	20.9
5月	西北西	2.8	28日	南南東	11.4	28日	南南東	19.7
6月	西北西	2.1	8日	南南東	6.8	4日	西	14.3
7月	西北西	2.2	24日	西北西	15.0	24日	西	28.4
8月	西北西	2.3	15日	南東	9.0	4日	西北西	15.0
9月	北東	2.0	22日	西北西	7.0	22日	西北西	12.5
10月	西北西	1.9	30日	西北西	9.7	19日	北西	19.5
11月	西北西	2.1	18日	西北西	10.2	26日	東	17.3
12月	西北西	2.2	19日	北西	10.4	19日	西北西	18.2
年間	西北西	2.3	7月24日	西北西	15.0	7月24日	西	28.4

気温湿度の状況（月別）

令和6年1月1日～12月31日

区分 月別	気温（℃）			湿度（％）			実効湿度 （％）
	日付		平均	日付		平均	
	最高	最低		最高	最低		
1月	19日	25日	5.4	21日	17日	63.9	64.1
	17.4	-3.1		95.2	18.6		
2月	20日	11日	7.7	20日	27日	62.9	63.2
	21.7	-0.7		95.5	20.5		
3月	29日	10日	8.5	26日	19日	59.4	58.8
	23.4	-2.0		95.2	13.0		
4月	28日	2日	17.2	25日	1日	63.5	62.5
	28.4	5.0		95.0	12.4		
5月	24日	10日	19.4	28日	18日	62.7	62.4
	31.8	8.4		95.0	12.2		
6月	14日	4日	23.7	24日	19日	67.1	66.6
	34.0	14.5		95.0	22.4		
7月	22日	13日	29.0	2日	31日	69.6	70.9
	38.4	21.3		94.9	30.2		
8月	5日	20日	30.0	25日	1日	67.6	65.5
	39.4	23.0		94.7	27.4		
9月	20日	25日	28.2	27日	23日	69.0	69.7
	37.6	19.9		94.1	31.1		
10月	2日	31日	21.2	30日	12日	71.4	71.5
	33.2	11.4		94.9	21.6		
11月	11日	30日	14.1	26日	9日	64.8	64.8
	26.0	3.3		95.2	19.4		
12月	3日	23日	6.2	1日	12日	65.4	64.7
	20.1	-1.5		94.9	22.5		
年間	8月5日	1月25日	17.6	2月20日	5月18日	65.6	65.4
	39.4	-3.1		95.5	12.2		

《 そ の 他 》

消防団現勢

令和7年4月1日

種別 分団別	定員	現在員	配置	人員							機械		
				団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	消防ポンプ自動車	小型動力積載車	
大口町	本部 (予防啓発団員)	107	80	11	1	2					8		
	秋田			9			1	1		2	5		1
	豊田			4			1	1		2			1
	大屋敷			3			1	1		1			1
	外坪			8			1	1		2	4		1
	河北			10			1	1		2	6		1
	余野			9			1	1		2	5		1
	上小口			10			1	1		2	6		1
	中小口			6			1	1		2	2		1
	下小口			10			1	1		2	6		1
小計	107	80	80	1	2	9	9		17	42		9	
扶桑町	本部 (女性団員)	68	61	8	1	2				5			
	第1分団 (高雄)			17			1	1	1		14	1	
	第2分団 (山名)			17			1	1	1		14	1	
	第3分団 (柏森)			19			1	1	1		16	1	
	小計	68	61	61	1	2	3	3	3		49	3	
合計	175	141	141	2	4	12	12	3	17	91	3	9	

* 大口町消防団 本部11名の内訳について、予防啓発団員8名(女性)を含む。

* 扶桑町消防団 本部8名の内訳について、女性団員5名を含む。

消防団車両一覧表

令和7年4月1日

所属	分団名	登録番号 (尾張小牧)	初度登録 年 月	経年	種別	総排気量 (ℓ)	定員	適要
大口町消防団	秋田分団	830 た 1119	平成22年 3月	15	小型動力ポンプ積載車	ガソリン 1.99	6	ニッサン CBF-SQ2F24
	豊田分団	830 さ 2119	平成22年 3月	15				
	大屋敷分団	830 す 3119	平成22年 3月	15				
	外坪分団	830 せ 4119	平成25年 3月	12				
	河北分団	830 せ 5119	平成25年 9月	11				
	余野分団	830 さ 6119	平成25年 3月	12				
	上小口分団	830 さ 7119	平成22年 3月	15				
	中小口分団	830 せ 8119	平成25年 9月	11				
	下小口分団	830 さ 9119	平成25年 3月	12				
扶桑町消防団	第1分団 (高 雄)	800 せ 3197	平成24年 12月	12	消防ポンプ自動車	軽油 4.00	6	CD-I 型
	第2分団 (山 名)	800 せ 7129	令和3年 12月	3		軽油 2.98		
	第3分団 (柏 森)	800 せ 1466	平成21年 7月	15		軽油 4.00		

消防職員による指導状況

令和6年度

区分	種別	体験広報	消火訓練	避難訓練	救急訓練	庁舎見学	防火講話	各個訓練 操法訓練	計
	自治会	実施回数	1	6	2	9		7	
参加人員		80	151	18	300		210		759
学校	実施回数	9	14	15	25	7	3		73
	参加人員	289	3,024	4,396	1,118	615	114		9,556
保育園 幼稚園	実施回数		7	7	3	3			20
	参加人員		647	819	37	148			1,651
事業所	実施回数		26	18	26		3		73
	参加人員		745	5,379	495		115		6,734
各団体	実施回数	1	5	3	11	3	3		26
	参加人員	120	81	290	105	86	52		734
自治体 主催行事	実施回数	2	3	1	1				7
	参加人員	184	395	340	34				953
消防団	実施回数	1	2		2			93	98
	参加人員	15	35		22			1,677	1,749
合計	実施回数	14	63	46	77	13	16	93	322
	参加人員	688	5,078	11,242	2,111	849	491	1,677	22,136

イベント・講習・訓練等実施状況

令和6年度

名 称	延べ人員 (人)	備 考
普通救命講習会	504	住民等
上級救命講習会	11	住民等
こども消防水道広場	409	11月16日(土)
一日女性消防士	10	3月3日(月)
甲種防火管理講習会	105	7月4日(木) 5日(金) 60名 1月16日(木) 17日(金) 45名
乙種防火管理講習会	5	7月4日(木) 0名 1月16日(木) 5名
危険物安全協会 消防技術競練会	40	10月18日(金)
事業所自衛消防隊 訓練	317	28 事業所
少年消防クラブ 一日入校	23	8月1日(木) 愛知県消防学校
幼年消防クラブ 鼓隊演奏会/発表会	148	11月5日(火) 扶桑幼稚園 57名 3月7日(金) 大口幼稚園 91名
B F C 消防署体験	97	3月2日(日)
合 計	1,669	

丹羽消防幼年・少年消防クラブ

令和7年4月1日

町 別	名 称	クラブ員数 (人)	指導者数 (人)
大 口 町	大口幼稚園幼年消防クラブ	60	3
	豊田子ども会少年消防クラブ	20	7
	上小口子ども会少年消防クラブ	76	28
	竹田子ども会少年消防クラブ	8	1
扶 桑 町	扶桑幼稚園幼年消防クラブ	61	3
	平塚子供会少年消防クラブ	10	4
	山那子供会少年消防クラブ	18	6
	北新田子供会少年消防クラブ	22	1
合 計		275	53

自主防災組織

令和7年4月1日

町 別	名 称	組織数	クラブ員数
大 口 町	自 主 防 災 組 織	11	10,122 世帯
扶 桑 町	自 主 防 災 組 織	32	14,928 世帯

災害時応援協定企業一覧

令和7年4月1日

食品・食糧・生活必需品
・イオンリテール株式会社イオン扶桑店 ・UDリテール株式会社 MEGAドン・キホーテUNY大口店
応急対策の協力
・丸周建設株式会社 ・永光建設株式会社 ・吉永建設工業株式会社
情報収集及び提供・応急措置資器材及び自動車燃料、災害対策用燃料の優先提供
・愛産商事株式会社 ・株式会社西日本宇佐美 ・株式会社扶桑石油 ・株式会社山正石油 E n e j e t 大口SS ・小川石油株式会社
緊急消防援助隊受援時の進出拠点の確保
・株式会社セントラル メガコンロード1177大口41号通り店 ・株式会社善都 ZENT扶桑店
災害時におけるレンタル資機材の供給
・株式会社倉衛工業 ・太陽建機レンタル株式会社小牧支店
災害時における無人航空機による支援協力
・株式会社DSA ・CRE
災害時における仮設トイレのし尿の収集運搬
・株式会社扶桑クリーン社 ・株式会社倉衛工業
災害時における傷病者の搬送に関する協定
・あんしん介護タクシー
医師等の出動要請に関する協定書
・医療法人医仁会 さくら総合病院 ・愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院

丹羽広域事務組合消防本部・丹羽消防署

〒480-0141 愛知県丹羽郡大口町上小口一丁目624番地

TEL 0587-95-5151

FAX 0587-95-5157

丹羽消防署 大口出張所

〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田一丁目18番地の1

TEL 0587-95-0119

FAX 0587-95-8320

丹羽消防署 扶桑出張所

〒480-0105 愛知県丹羽郡扶桑町大字南山名字仲畑119番地

TEL 0587-92-3100

FAX 0587-92-3101

丹羽広域事務組合事務局

〒480-0121 愛知県丹羽郡大口町河北二丁目23番地

TEL 0587-95-3400

FAX 0587-95-4941